京城日報
（本日本紙十二頁）
[illegible]

諒闇中の昭和二年

一

諒闇中といひながら新年は新年である。うらゝかな初日影を拜して、昭和第二年に於ける國家社會はた一身一家の希望は、悲しみに壓され、憂ひに鎖されてゐる胸にも尚油然として湧き出づる。もとより此の際喜びの色を浮べ、笑ひの聲を放つことはくれ／＼も御遠慮申上べきであり、謹慎といふことは、すべての場合に第一義とならねばならぬ。畏き邊りの御寂しさを思ひ參らせれば、我等は只粛然として大行天皇の御冥福を祈り奉るに餘念なかるべきである。

二

併し乍から、我等が諒闇中に於ける國民の心掛として高調せねばならぬことは、飽くまで謹慎なれ、萬事に御遠慮せよといふやうなことではない。[illegible] 國民が知 [illegible] 實際にそ [illegible] ない程で [illegible] 畏くも新 [illegible] 以て大統 [illegible] として負 [illegible] 之懼る」と [illegible] き御精神 [illegible] 擧國一體 [illegible] に培ひ、[illegible] 安謨を顯 [illegible]

三

[illegible] 新元號 [illegible] の古典的意義であるが、我等はさらに文字そのものから直感的に受ける文化的光輝平和的氣分は、新帝陛下の御代を特色づけるものであると信ずるのである。現に勅語に於ても「我國の國是は日に進むにあり、月に新にするにあり」とて聊かも國民をして志滿ち、安をぬすみ、現状に滿足せしめることを許し給はず、しかも進むに其の序あり、新にするに其の中あり、浮華は斥けねばならず、質實は尚ぶべく、模擬は戒めねばならず、創造は勖むべく、進んで一視同仁の化を宣べ、永く四海同胞の誼を敦くせんことを諭し給ふ。國民的向上精進の燈明臺は赫々として、風浪高く、四顧陰慘なる國家的環境に輝きつゝある。

四

信は力である。我等は昭和の御代に於ける帝國の國運を信ずる。此の國運を隆昌ならしむべき國民的抱負を信ずる。その火によつて燒けず、水によつて溺れざる堅固なる忠誠の念を信ずる。さま／＼の宣傳、運動、誘惑は、たゞ陽炎よりもはかなき存在であつて、國民道徳の大本は、皇室を中心として嚴としてゆるぎなきを信ずる。此の信念を固からしめしものは、大行天皇の御惱重らせ給へる頃より日本帝國臣民がたゞ一つの心、たゞ一つの體の如くに御平癒を祈り奉れる事實、即ち是であり、また現下の國家的不幸に際して、發揮された悲壯なる國民的決心が英明たぐひなき新帝陛下の聖徳を四海に光被し、仁澤を遐陬に霑洽せしめ給ふために、各その分に應じて最善の道をつくさんとするに外ならぬ事實、即ち是れである。

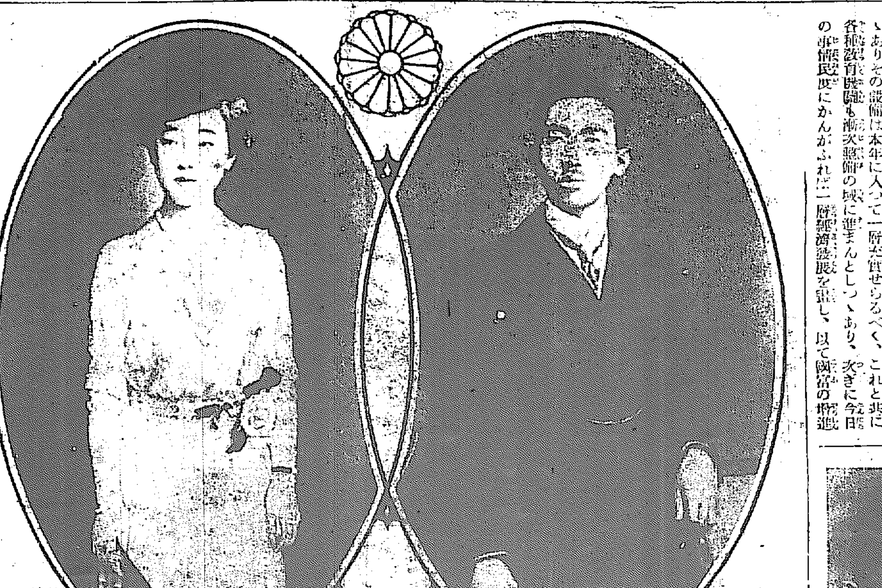
年頭に際して

政務總監　湯淺倉平

朝鮮赴任以來第二次の新年を迎ふることとなつたが今更歳月如流の感に堪へない然して今この新たなる歳首に當たり一年の計を立てそれ／＼其準備をなす所がなければならぬことを痛感するそも／＼朝鮮統治に關する政務は多方面でこれが施設はその何れを重しとし、何れを輕しとするとを得ず各種施設倂進の必要なるは勿論であるがまづ教育についていへば、昨年京城帝國大學の開設せらるゝありその設備は本年に入つて一層充實せらるべく、これと共に各種教育機關も漸次整備の域に進まんとしつゝあり、次ぎに今日の國民生活にかんがみれば一層經濟發展を圖し、以て國富の增進民衆生活の安定に資するを緊下の急務となすは殆ど何人も異議をはさむ余地の存せざる所である此において、本府は產業第一主義に立脚し產業の振興にその力を致し從來の產業施設に對して益々擴充する方針の下に、昨年度より同施設の大宗たる產米增殖計畫を更新して、積極的にその歩を進め、なほ蠶業及び水產等の企業に對しても助長促進に努むる所あり、この外本年度よりは、水產增進に必要なる諸種の施設を試みる事とした。しかして產業資金を供給する金融機關の如きも又產業施設に適合すべく配慮に斟酌を加へ來たつたのである。

かくの如く產業に關係を有する各種施設はそれ／＼進捗しつゝあるに拘らず當面產業開發文化進展の先驅たる交通方面の施設殊にその主腦機關たる鐵道の分布がこれに伴はざるにおいては折角の諸計畫も畢竟の狀態に陷り、充分に成績を擧ぐることあたはざるは言を俟たぬのである。ゆゑに本年度よりは從來の鐵道計畫に更に一歩を進め朝鮮鐵道網完成の計畫を立て、十二ケ年繼續事業としてその實現を期しつゝある。この外海運といひ港灣といひ道路といひ治水治山その他の施設といひ悉く產業振興經濟發展と關聯して施設されつゝあるのである。

要は朝鮮における當面の急務はもとより一にして足らざれども日韓併合の詔書に「產業オヨビ貿易ハ治平ノ下ニ顯著ナル發達ヲ見ルニ至ルヘシ」と宣ひ本府官制改革の詔書に「民力ノ發達ヲ努メソノ福利ヲ增進セシメムコトヲ念フ」と仰られたかしこき聖旨を拜して特に產業その他これに關聯せる施設については官民協力一致一段の努力を拂ひ以て消長時に答ふる所あるやうまづ一年の初頭においてそれ覺悟いたしたいと思ふのである。（寫眞は總監近影）



聖壽無窮

一年の初頭に立ちて至誠奉公を期す

朝鮮總督　子爵　齋藤實

こゝに自分が朝鮮における第八回の新年を迎へ內外の形勢と同時に內外の狀勢に順應し官民協戮ひたすら國運の進展に貢獻すべく一層職務に各その職とする所に邁進せんことを期するものである。

回顧すれば自分が就任した大正八年の秋時勢に順應して確立した統治上の諸政策、即ち（一）治安の維持（二）教育の普及改善（三）產業の開發（四）交通衛生の整備（五）地方制度の改革等に鋭意邁進し時宜民度を考慮して漸次施設を進めたがさいはひに順調に進運ばれ、各般の施設も先づ一通り緊急の整備を見んとするの好機運に向つたのである。即ち治安の維持について、朝鮮の警務機關の改革を行ふて以來、漸次その充實整備をはかり、百方努力の結果、國內統一に赴き又かつて至難とした國境警備の如きも、その施設運用において、ほとんど遺憾なきを得て、治安上殆と遺憾を感ぜざるに至つたのである。次ぎに日韓併合の精神徹底上切要なる文化の向上および帝國の方法として、教育の普及擴張と制度並に內容の改正充實につき漸次施行する所あり、大正十一年新に公布された朝鮮教育令の實施以來、普通學校數の增加は勿論高等普通學校および專門學校を增設し實業教育を獎勵し、師範教育の整備より昨年度における帝國大學の開設に至るまで、殆ど文教の普及一として顧はらざるはなく、又普通學校高等普通學校の年限延長、內鮮の差別撤廢並に聯絡保持等、制度の方面においても殆ど間然する所なきに至り、學制の改正も漸次行はれんとするところである。

朝鮮における經濟發展は喫緊の要務たるを以て、つとに產業施設に重きを置いてその振興方法を講じ大正九年產米增殖計畫を立てゝこれが遂行に努むる所あり、なほ昨年度以來同計畫を更新して積極的施設をなし各道本府山林部を設置して林政を統一し、林務機關の整理をとゝのへ益々その成績を擧げんことをはかり、又本年は土地改良に關する機關を特設し、かつ水產に關する施設をも擴張するの計畫を立て、一層產業を振興し、以て國富の增進民衆生活の安定に資せんとしつゝある。

交通土木に關しては、鐵道網、道路港灣、河川等の整備をはかり、およそ財政の許す限り施設する所ありたるが、文化の向上普及殊に產業の振興を計らむとするには、鐵道の普及を最大急務となし、特に產米增殖計畫と相待つべき姉妹施設たる朝鮮鐵道網の完成を本年度より遂行すべく、これが必成を期しつゝある。

衛生に關する施設もまた朝鮮においては最も緊要の事たるを以て、就任以來從前の施設を擴張してそれ／＼擴充する所あり、今日におよんでは殆ど面目を一新した觀があるが、將來一層その整備に努むる方針である。朝鮮において切要とする地方制度は民意暢達の第一歩として、大正九年地方制度を改正し自治的諮問機關を設け、地方自治の訓練をなさしめ以て自治制實施への階梯に供し爾後の選擧三回の成績に徴すに概ね良好と認められ大いに將來を期待せらるゝ狀況である。

上述の如く、本年は朝鮮統治上施設を要する時運に際するを以て各般の施設經營を促進して一層官民の協戮親睦を進して相まち萬事の改まると共に一層緊張した氣分を以て至誠奉公を心掛け益々努力する所ありたいものである。

法律正義に從へ

法務局長　松寺竹雄

丁卯の新春を迎ふるに際り、吾人はその意氣を新にすると共に深く自ら省み努めて私に陰謀を避けその本分に精をつくし、同心協力國運の隆興に力を協け以て聖旨に副ひ奉らむことを期すべきである。

王公家軌範は最近勅令を以て公布せられ、その實施を見るに至つた。それは獨り王公族の人々のみにおいて行はるべき皇室制度並に諸種にて制定せられたるものであるが、申すまでもなく王公族の特殊地位に鑑み一般人民の遵守すべき法規を以て律することの能はざる [illegible] に因るものであつて、[illegible] 固となり一般人民もまた [illegible] 所を知悉しうるに至つたことは誠に慶すべき次第である。過般の帝國議會を通過した民事訴訟法改正法案は未だ實施の運びに至らないが、何れ近くその實施期日も定められ、それと同時に

朝鮮民事令も多少改正する必要が生ずるものと思ふ。新民事訴訟法の改正の主眼とする所は、現行民事訴訟法における多年の經驗に鑑み同法中の訴訟遲延の [illegible] において特に顯著なる理由がなければ許さない方針であり、なほ [illegible] 手續違ひの訴訟については職權を以て正當管轄權ある裁判所に移送する等その他利害關係人の

利益を保護 する訴訟參加の範圍を擴張する等種々の方面にわたり改正せられたのである。朝鮮民事令もこの改正の趣旨に應じて變更せらるゝであらういよいよ實施のあかつきは從來に比し著しく訴訟の進捗は期待せらるゝことゝ思はれるのである。近時朝鮮における犯罪の趨勢を見るに、大正十年には十四萬四千餘件であつたが大正十二年には十六萬五千餘件、大正十四年には二十萬五千餘件に達しなほ遞增の傾向を示して居る。しかしてこれ等の犯罪中阿片煙、文書および印章僞造、賭博富くぢ、傷害、窃盜、詐欺、恐喝、横領等の犯罪は特に增加し殺人、强盜等の犯罪はその質徐々惡化せんとしつゝあるは洵に憂慮すべき現象である。司法關係の職にある者は犯罪者の個性環境等を精査し、一般豫防特別豫防に意を用ゐ極力之が

撲滅に留意 して居るは勿論であるが一面犯罪者と密接關係を有せる社會一般が犯罪發生を防止することに心せねば到底その目的を達することは出來ないと思ふ。社會一般は須らく更に／＼社會の進運と國民精神の作興とに眼を注ぎ自衞と共に犯罪行爲の探聞發見または減少につき今一段の努力を希望するのであるいふまでもなく司法機關は國民の權利利益を保護し國家の安寧秩序を維持するを目的とする。司法官が裁判をなすに當たつては、常に公明正大嚴正の態度をもつて人權保護の最終の保障たらしむべく心掛て居るから、國民も大に自覺し、告訴、告發又は證言、鑑定、或は辯護等をなす場合においてはいはゆる

法律正義に 從ひて行動せなければ完全なる裁判の效果は收め難いものである。朝鮮においては漸次減少の傾向ありといへどもなほ誣告、僞證、證憑湮滅等に關する犯罪の相當多數に上つて居るのは頗る遺憾である。國民は各自共同一致司法機關の公正なる運用と呼應して懲戒自ら以て國家の爲め大いに努力するの覺悟あらんことを切望する次第である

昭和二年を迎へて

遞信局長　蒲原久四郎

客歳末には、はからずも大行天皇の御登遐にあひ、八千萬同胞の等しく愁傷にくれたのであるが、私共は一層謹慎して、先帝陛下の御聖德をしのび奉りたいと思ふ。寶祚の無窮なるはわが國體の精華であつて、今上天皇陛下が御踐祚遊ばして、大統をつぎ給うたのであるから、たとへ諒闇中であるといつても、なほ今上陛下の御稜威を仰いで、業務にいそしみ、國力の充實に務めるのが、私共としての義務である。それが忠愛の誠を致すゆゑんである。

殊に私共朝鮮に居るものは、常に如何にして朝鮮を立派なものに仕上ぐべきかといふことを考へてみなければならないのであつて、朝鮮といふ總土を開拓するためには私はまづ朝鮮の經濟力を養ふといふことが急務であると思ふ。

朝鮮の經濟力を養ふ爲には、第一にはその交通機關を整備することが肝要である交通機關の完備によつて、生產原料の運送、生產物の配送といふことが容易になり、生產事業が勃興して來る。その結果は又交通機關の發達を促すといふ結果になつて交通と生產とは、密接な交互的關係をもつてゐる。交通といふ中には、獨り運輸のみならず通信をも含んでゐることは勿論のことである。

產米增殖計畫の如きは朝鮮產業開發、經濟力培養の爲には恰當の施設である。本年はすでにその實行期に入るといふのであるが、その實行後における產米輸送といふ關係から、鐵道方面においては、鐵道網の完成といふことを期待してゐるやうである。結構なる計畫であるが、將來の朝鮮外國輸送といふ點から海上輸送といふ方面に、この海運の發達が輸送の消長に關係を有することは又多言を要せぬ。朝鮮は三方面に臨んでゐるので又重大なる意義が生じて來るのである。これと共に、その生產物の取引といふ方面から通信機關の內容を充實せしめる必要が生ずる。產米增殖の結果も敏活なる通信の媒介によつて、その取引が圓滑に行はれるにあらざれば、決して十分なる効果を納めることは出來ぬ。なかんづく電信電話の整備といふことは急務中の急務であらう。

經濟力を養ふについての第二の要件は、金融の圓滑といふことである。殖產銀行、金融組合聯合會、各地方金融組合等それぞれその職分を以て、金融の圓滑資金運轉の敏活といふことについて考慮されてゐるやうであるが、朝鮮として最も苦痛を感じてゐるのは、產業資金が潤澤でないといふ一事である。是非ともこれが資金をうるにあらざれば、折角の產業開發計畫も、到底實現に困難なるのであらう。その意味において郵便貯金の獎勵も必要である。郵便貯金は低利なる資金を集めて、巨額なる資金に充てる。それは貯金の價値を增加せしむるゆゑんでもあり、產業資金をうるゆゑんでもある。

簡易生命保險の如きは一般民衆の經濟力を強め國民共濟の實を擧げるとともに、その余資を以て產業資金をもうることになるので、朝鮮經濟の前途においては、緊要の施設と思はれる。是非ともこれが實現に努めたいと觀つてゐる。

資金の充實を得て產業の敏活といふことも考慮しなければならぬ。取引の運速は、やがて生產の運速となるから、資金融通の普及といふ問題も看過することと同樣で、郵便貯金の利用者を增加せしめ、簡易保險並に郵便貯金加入者を利用せしめることは、最もその捷徑であると思ふから、本年はこの方面にも一層力を入れるつもりである。然して朝鮮開發の爲に、產業取引の敏活を誘導したい。

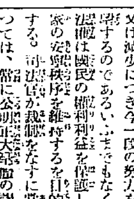
鬼の年を迎へた。總督政治の勢ひを以て、朝鮮經濟力の培養に力を致したいものである。

正氣放光

[illegible]

大京城の建設

京城府尹　馬野精一



我京城府は人口において已に內地六大都市につぐの大を示して居るが實において未だ遠くおよばざるを遺憾とする。これが內容の充實に眼前に幾多の施設を要すべきものが山積して居るがこれを遂行するには財政問題に歸一するはやむを得ぬところである。

而も昭和二年度は政府の財政緊縮に依る地方稅制の改廢を行ふことになつて居るので、此の間に處し努めて府民の負擔に激變を生せしめぬ方針のもとに歳入の缺陷の補足の途を講じ出入の衡を圖らねばならぬことは一段の苦心を要する。

都市の問題は結局保健の問題に歸し、又衞生に重大なる關係をもたぬ都市政策は極めて少いとまでいはれてゐる現代思潮から考察するとき、衞生問題はあらゆる都市の方面に多大の交渉を有し府行政の立場から見て重要の地位を占むるものである。向後保健衞生に對しては慎重の調査を遂げ社會的施設の完備を期したいと思ふ。目下屎尿汚物處分場の移轉および火葬場新設等が喫緊の問題になつてゐる。更に都市計畫のことであるが京城都市計畫調査研究に依れば現在の府廳舍を中心として一里半の半徑で圍まれたる圓內即ち約三千萬坪を以て大體適當なりと認められて居る然らば其區域に交通、衞生、保安、經濟等に關し永久に公共の安寧を維持し又福利を增進する施設をなし將來大京城の實現に努めなければならぬ、そこで本年は是等具體的の計畫に移ると共に之に伴ふ所要經費の財源問題に付て調査を進める考へである、京城府の現狀より觀察して適當なる都市財源として認められべきものは、第一に官公有地等の拂下により土地收入を行ふこと、第二に公共事業を府營とすること、第三に府民一般の努力による受益者負擔稅を起すこと等であらう

要するに國庫の補助のみを以て唯一の財源とすることは絶對不可能で萬全の策ではない、或る程度までは獨立自營で、この財源問題を解決しなければならぬものと確信する。最後に各種社會施設について見るも京城府の現狀は甚だ不完全たる事を免れぬ。これ等も漸を逐ふて擴充改善を期したいと考へる。何分多端であるから、從つて又諸般の施設に應じて府民の協力が必要とされて居ることを覺悟せねばならぬ。然しながら半島經濟の中心都市として大京城建設の爲には四十萬府民の熱心なる協力と愛府赤誠の精神を後援にわれ／＼は至公至平全力を盡くして府務に貢獻したいと考へる。

鐵道網の新計畫

大村鐵道局長談

交通機關が產業並に精神的文化の發展に密接なる關係を有することは、ここに說明するまでもないことであります。これを朝鮮について見ましても、洪水旱魃或は地形の河川の流域において文化の發達が認められ、交通機關の整備に並て漸次文化の程度の地域を擴大し來つゝあるのであります。交通機關の中鐵道の敷設が最も重要なる地位にあることもまた何人も異議なき所であります。朝鮮は併合以來、新文化の統合組織に向つて進展しつゝありますが、今日最も急務とせられてをるのは產業の開發に由る生活の安定であります。殖產、水產、林業、鑛業又は工業等の助長政策に許多の計畫が遂行せられておりますが鐵道の敷設即ち鐵道網の完成は、各種政策と併行して、否先驅して遂行すべき重要なる國家事業であると確信するのであります。今朝鮮における鐵道敷設の程度を內地臺灣等と比較して見まするに

	百平方里當	人口十萬當
朝鮮	一二、四	九、一
內地	四九、四	一六、二
北海道	二八、八	六五、九
臺灣	三五、七	二〇、九

これを以て見ても、現朝鮮においての鐵道設備の如何に貧弱であるかを推測出來るのであります。鐵道の分布乏しき爲に、鐵路附近の天產物はむなしく死藏せられ、[illegible] 狀態にあるのであります。鐵道網の要とするは勿論でありますがこれが完成には資金も勞力技術もあはせ要するを誘引すべきものは交通機關の普及であります。ひるがへつて朝鮮における各種產業の發達程度に傾向を考へて見まするに、今にして鐵道敷設の計畫を建て、これが完成に努むるにあらざれば、將來必ず悔を遺すことがあるだらうと思ふのであります。かゝる見地よりして當局は鐵道網計畫を建てたのであります。

本年はこの朝鮮鐵道普及計畫に更に一歩を踏み出したるその第一年であつて將來これが完成は一に官民一致の努力にまつ外はないのであります、いはゆる官民一致といふことは經濟線の敷設に關し民間の發明をまつは勿論であるが民有線として即ち私設鐵道の延長を依存し國有線敷設以上に遂行することも又頗る官民一致であるといふことを理解せられんことを期するのであります。年新たなると共に一千萬同胞協力一致半島文化の發展に努むる限りであるを痛感する次第であります

朝鮮の産業に就て

殖産局長 池田秀雄

謹賀と歡喜とを以て昭和二年の新年を迎へました。謹賀と歡喜とは申すまでもなく今上における奉祝と殿下の御踐祚にあひ涙痕未だ乾かざるに、又畏くも大行天皇の御崩御にあひ、國を擧げて哀愁に沈んでをりますが、この際考ふべき點はいはゆるかなしんで傷らず國民に謹慎の年を迎ふると共に緊張以て朝鮮の至誠を致し興國の意氣を一層振起して勇往邁進各その職にはげむべきであると思ふのであります。

朝鮮統治の全體に彼これ申すのは私のなすべき事ではありませんただ私の關係する産業方面につき一言年頭の所感を述べて見たいと思ひます。さきに産米増殖計畫の樹立、林政の改革、農會令産業組合令等の發布あり、最近には無煙炭開發の曙光を見るに至り産業政策の基礎漸次確立しつゝあるはまことに朝鮮産業の將來の爲慶賀の至りであります。

産米増殖計畫はすでに實行期に入つて居る昨年は準備時代であつたが本年からはいよ〳〵官民一致その實行をはげみ豫定の計畫も豫期以上の成績を擧げんことを願つて居る次第であります。

農會令産業組合令も御承知の通りすでに發布せられましたが農會の組織は豫期以上に進捗、道、府郡農會は昨年中に全部成立しましたから本年に中央團體たる朝鮮農會も成立することゝ思われます然らば朝鮮においても數年來の懸案たりし首尾一貫せる系統的農會が成立する譯であるが農會施行如何によつては初めて朝鮮においても官民一致の農業上の活動が出來ることとなり産業上一大新時期に入ることをりうると確信するのであります又産業組合も本年度内には設立となり確實味のある十有余の組合が認められるはずであります將來一層適切なる指導監督を加へて有終の效果を收めしめたいと思つて居る次第であります。

朝鮮の鑛業が近年漸次活況を呈し既に最近無煙炭鑛の合同により近く斯業の活躍期に入る準備が出來ましたのは誠に慶賀すべき事柄でありましてこの外金鑛業等も漸次其の盛況をもり返して來ると思ひます、又有煙炭の需要も近時著しく増加して來ましたこれは鮮品奬勵の結果でもありますけれどもその炭質が漸く世人の認むるところとなつたので家庭用とし或は工場用として前途大いに囑望されて居るので交通機關の整備に伴ひ相當の發展をもたらすことゝ信じて居るのであります

朝鮮の水産は始政以來着々進歩發達を致しましたけれども未だ幼稚の域を脱しない状態でありますから今後益々促進を期したいと思ひますが漁撈にしろ養殖にしろ製造にしろ頗る簡單の處理なものがありまして一擧に何も彼もと云ふ譯に參りませんから調査研究の結果必要なる獎勵計畫の基礎を確立し既定の獎勵事項に對しては益々補助を厚ふしてその改善に努めしめ又新に淡水魚養殖の試驗と共に漁獲物の處置に關しては製氷工場および貯氷庫の新設補助ノリ、カキの獎勵等を行ふと共に不正漁業の取締を嚴にし外に對支貿易の進展をはかる目的を以て運貨補助の途を講ずる積りでありますから當業者諸氏の一層の奮起を希望して止まない以上は年頭における私の計畫や希望の大體でありますな朝鮮産業の前途に向つては幾多の希望を抱懷してをりますけれども財政が容さぬのみならず無理なる計畫にまたねばなりませぬさいはひに消極的微志に對し民間有識者の激勵と援助とをこほむり着々堅實なる歩を進め以て朝鮮の啓發に貢獻し官民一致國運の隆昌を祈つてやまない次第であります。

本年の財政計畫

草間財務局長談

新春を迎ふるに際し聊か所感を述べたいと思ひます。昨年中における朝鮮の財務行政を回顧いたしますと實に多事多端でありました朝鮮における多年の懸案であつた租税制度の改正については既に一昨年から準備調査を進めて來たのでありますが、昨年に至り本年度豫算に關係ある部分につき

成案を

得ましたので、これを税制調査委員會に附議しその決定を見るに至りました。即ち國税においては地税との負擔の均衡をはかる爲に營業税を創設し公債社債の利子に對する資本利子税を創設していはゆる收益の組織を完備する外個人所得税の改正酒税率の引上げを行ひ、綿織物の移入税を撤廢し地方税においては多年懸案の營業税を廢止して不動産の取得税を、市場税を廢止して不動産移轉税を新設する等の重大なる改正を加へたのであります。なほこの改正によつて從來朝鮮の税制に缺乏してゐた屈伸力を與へたのであります。本年度豫算の編成に當つて特に意を用ひたのは朝鮮鐵道網完成計畫の樹立であります即ち昭和元年より

十二年

計畫を以て八百六十マイルの國有鐵道を新設し二百マイルの私設鐵道を買收しやうとするものでありまして、その總額三億五千萬圓を要するのであります。が、この鐵道網の完成は産米増殖計畫と相まつて朝鮮開發のため重大なる意義を有するものでありますから、當局の努力はもとより、民間有志諸君も協力これが實現を期望しましたので緊縮政策をとつてゐる中央政府もその事情を了解してこの計畫に贊成した次第でありますさて本年において行ふべき

重要な

事項はと申しますとまづ改正税法の實施と金融經濟の調査をあげることが出來ます

切角負擔の均衡を圖らんが爲に施行しました租税の組織もその運用よろしきを得ない時はかへつて負擔に不公平を生ずる結果となるのであります。これが爲に當局が懸命の努力をなすべきは勿論でありますが、その運用の圓滑を期するが爲には納税者の國民としての自覺が緊切であります。殊に今回の改正によつて營業税の如き納税者の申告を必要とする税が設けられましたので、徐々その

必要を

生じたのであります。民間諸君においてもこの點を十分に考慮せられて朝鮮多年の懸案解決に協力せられん事を望みます。諸般の財政經濟施設と相まつて金融制度の改善は最も緊切なる問題であります。こゝにおいてか、本年度においてこれが基礎的調査を行ひ將來の大方針を確立する考へであります。これにより各種金融機關の機能を十分に發揮せしめ、資金の融通を圓滑にし、內地資本の流入を容易ならしめ、金利の低下を計る等、努めて時勢の要求に應ずることを期してゐます。かくの如く昭和二年においても財務行政は益々多事多端であることが豫想されます。しかしその

完璧を

期せんが爲には官民の一致協力を必要とするのであります。年頭に臨んで切に大方の御援助を願ふ次第であります。

生産教育の提唱

學務局長 李軫鎬

こゝに昭和二年の新春を迎ふるにあたり國家の重大時機に際會せる朝鮮教育に關する所懷の一斑を述べ二千萬大衆の福利増進のため更に努むるの微意を表示したいと思ふ

おもふに過去一兩年は中央政府の方針に則り、朝鮮においても行政財政の整理を斷行し緊縮の上に緊縮を重ねられたのであるが幸に教育は順調に伸展し下は初等教育より上は大學教育に至るまで各種の教育機關漸く整ひその內容もまた充實し豫期の成果を收めるに至つた事は誠に同慶の至りである。

顧て進むべき前途を眺める時はそこに未だなすべき事の頗る多きを知るものである。

經費の支出により、或は實際教育家の努力により或は識者の理解と援助とにより、或は二千萬大衆の覺醒により解決し達成すべき幾多の事項が殘されてゐる蓋し初等教育機關たると高等教育機關たると師範教育機關たるとはたまた實業教育機關たるとを問はず、何れも國家存立のため、おの〳〵重要なる使命を有し、その間何等輕重のあるべきはずがない。何れも國家存立の上に至重なる責務を分擔してゐるものである。われ〳〵當事者は何れの教育たるを問はず當事者としてなすべき事項はそれ〳〵に對し事情の許す限り積極的に實行した積りであり將來も着々實行する決心をもつてゐる。然しながら近時世界の大勢と朝鮮の現狀とを鑑みるときはただに教育者ばかりでなく一般の人々も考慮せなければならぬ事は、生活と職業と教育とを調和せしむる事であると信ずる。教育は生きた人間を作るが目的であり、働きのある國民を作るのが教育であるとするならば、すべての教育は生活に即し職業に即してゐなければならぬ。何れの職業に從ふも必要な基礎を築くのが普通教育であり特定の職業につくため授くる教育が職業教育である、かくてこそ何れの教育においても眞に實際的生産的活動のできる人間が出來るのである。しかるに朝鮮は古來儒教主義により知識の向上人格の陶冶に重きを説き、偶然この二つの中に含まるべき前途の一要素を輕視した傾向があつた、從つて一般大衆は生産とか職業とかを理解しない傳統の力で押されて今日まで來たのである。勤勞を説き、職業獎勵を絶叫しても中々にこの傳統の大勢は強く容易に所期の目的を達し得ないのである。廣漠たる田野、無盡藏の水産物ある河海は開拓するものゝみに惠まれるのである。天然の大寶庫は何人のもつ鍵でも極めて容易に開かれる。

將來斯土の住民に幸福をもちきたらす唯一の方策は生活と職業と教育とを調和せしめることであり教育の一要素として生産的活動を高調し徹底せしむることである。されば本年は昨年に倍し生産教育を提唱し、學校教育の生活化を高調せんとするものである。述ぶる所簡約なれども一斑をみて全豹を卜せられんことをこひねがふものである。(完)

噂の皇子載せて 全速力で日本へ

準備急ぐ御召船サイベリヤ丸 到着は一月十七日

【東京電話】秩父宮御召船サイベリヤ丸は十二月廿四日すでに桑港に着し目下同港で出帆の準備を急いでゐるが同船は廿日桑港發翌廿一日ロスアンゼルス着廿一日同港發廿二日サンフランシスコに歸り廿四日正午サンフランシスコ解纜日本へ直行するはずである 同船の普通速力は十五ノットであるが今回は特に一ノットを増し十六ノットとし定期寄港地たるホノルヽにも寄らず直行十四日目即ち一月十七日午後横濱に入港の豫定である

東久邇宮

二月二日横濱御到着

【パリー卅一日發電】東久邇宮殿下は正月五日フランスセルブール出帆のキュナード會社汽船アクイタニヤ號に御乘船ニューヨークへ御急行シヤトル港經由二月七日横濱着汽船で御歸朝に決した

閑院總裁宮 令旨を賜ふ

若槻首相の訓示と共に大喪使の初會議で

大喪使の初會議は卅日午前十時半から宮中東二の間に開催閑院總裁宮はじめ一木長官塚本關屋兩次官一條祭官長以下各事務官および各祭官等參集しまづ總裁宮より左の令旨あり次いで首相および長官の告辭あり終つて議事に入り御大喪儀日程大喪使事務分擔御陵墓に關する件等を協議し午後五時まで續行した

總裁宮令旨 茲ニ大喪使ヲ置レ總裁ノ任ヲ辱ナクス長官以下ノ拮据淬勵ニ頼リ大儀以テ畢リ克クソノ始メアリ克クソノ終リアランコトヲ庶幾フ

若槻首相の訓示 一意御悩の御平癒あらせ給んことを祈り奉りたるに遽に先帝の登遐あらせらるゝに遭ふ、臣民何れか哀悼の情に勝へ奉らむ茲に大喪使を置かれ載仁親王殿下總裁の下に長官以下の職員各々任命せられたり儀禮は素より嚴粛を尚ぶも亦質素を旨とすべしとの聖旨を奉戴し皇室喪儀令の定むるところに遵ひ各般の施設其の宜しきを失はず職員一同協力勵勉、用意周密克く之の事にしたがひ大儀を完成するに於て毫末の遺憾なからんことを望む

御局女官制 廢止と承る

新帝の生活簡易化の第一歩として斷行

【東京電報】新帝陛下には御踐祚と共に從來東宮御所と呼ばれた赤坂離宮を御在所と定められ當分ここに御すまゐになるが新帝の御代と共に宮中の御模樣にも種々御改革の事あるやうに承はるがその一つの現れとして從來大奧に奉仕してゐる御局女官制は廢止される事となつたこれは一に陛下の深き思召しによるもので生活の簡易化を一般國民に垂れさせ給ふものと拜せらる目下皇后の宮づき女官として奉仕してゐるのは典侍掌侍以下六女官に御用掛判任女官十二名のごとく…時代奉仕した典侍以下は當分皇太后宮づき女官として殘ることゝなつてゐる

十三道地方官錄

昭和二年一月一日現在本社調査部調べ

道名	知事	參與官	內務部長	財務部長	警察部長	府	尹
京畿道	米田甚太郎	朴容九	井上清	大島良士	安藤袈裟一	京城 仁川	馬野精一 松田克己
忠清北道	韓圭復	李宅珪	磯野千太郎	堂本貞一	今村邦典		
忠清南道	兪星濬	南宮營	武井秀吉	芳賀文三	佐伯顯		
全羅北道	渡邊忍	金英鎭	野田鞆雄	三浦斧吉	河野節夫	群山	澤村荒次郎
全羅南道	石鎭衡	朴喆熙	張間源四郎	山澤和三郎	神尾弌春	木浦	飛鋪秀一
慶尚北道	須藤素	高元勳	古橋卓四郎	渡邊秀雄	石本堅	大邱	上內彥作
慶尚南道	和田純	沈晥鎭	松井房治郎	阿部千一	村山沼一郎	釜山 馬山	泉崎三郎 寺島和久
黃海道	今村武志	柳基浩	李範益	松澤國治	佐々木忠右衛門		
平安南道	青木戒三	李鍾國	關水武	古莊逸雄	伊達四雄	平壤 鎭南浦	松井信助 福田[illegible]
平安北道	谷多喜磨	劉鎭厚	菊山嘉男	矢野桃郎	宮永一二	新義州	藤谷作次郎
江原道	朴相駿	石明瑄	小西恭介	細井亥之助	甘蔗義邦		
咸鏡南道	中野太三郎	尙灝	桑原一郎	山本坂太郎	鹿野宏	元山	木村靜雄
咸鏡北道	朴榮喆	金瑞圭	釜瀨富太	金東勳	美座流石	清津	三上新

小出楢重畫伯筆

茶ばなし

◇……顧みて昭和二年を迎へた、われ〳〵は『一年の計は元旦にあり』なぞと古い言葉をひつぱり出すまでもなく、考へても見たいし想像もするのです。

◇……朝鮮は、この年から本當の活動期に入るのです、土地改良事業が實行に入ります、治山、治水、港灣修築の諸事業も同樣です、それに今年から實施された鐵道網完成計畫が着手されますこれだけでも澤山のお金子が動いて、數へ切れぬ人々が働くのです。

◇……低利資金、公債と次ぎから次ぎに內地から余分のお金子がドン〳〵朝鮮に流れ込む、そして、みんな全朝鮮にばらまかれるのです。こんな事實の來るのを想像しても、たしかに黄金の雨が降るといふことを如實に現出するに違ひないと思はれます

◇……しかも、十二、三年間續くのですよ、この好機を取逃すものは、懶眠をむさぼつてる者だけです。浮つ調子にならずに、健實に不眠不休の大努力を傾注してこの十二、三年間に朝鮮自給の基礎を鞏固になさねばなりません

◇……また、必ず左樣な[illegible]好機會が與へられるのです、御互ひにウンと進みませう、生氣潑溂としてゝす。

奉悼

帝國炭業株式會社 咸興支店

咸南道立咸興醫院 職員一同

咸興刑務所 職員一同

咸興公立高等普通學校
咸鏡南道師範學校
咸興公立高等女學校
咸鏡公立農業學校
咸興公立商業學校
咸興公立尋常高等小學校
咸興公立第一普通學校
咸興公立第二普通學校
咸興公立女子普通學校
職員一同

咸南端川郡廳 職員一同

咸鏡南道廳 職員一同

大興電氣株式會社 咸興支店長 宍倉六二

咸興土曜會
朝鮮殖産銀行咸興支店
韓一銀行咸興派出所
咸南金融組合聯合會
咸興金融組合
咸城金融組合
北鮮商業銀行
咸興信託株式會社

卯年生れの映畫女優

卯の年生れの映畫スター（廿五歳と十三歳）を御紹介しやう。いづれも映畫でおなじみのものばかりである。

東亞キネマ

綸島千歌子（二五）

わたしが東亞キネマに入りましてから、四年目の春でございます。その間これといふ目覺しい映畫を作ることも出來ませず、年ばかり重ねて行く不甲斐なさを考へますと、ヂッとして居られないやうな心地が致します。新監督の下で『父の心臓』や『若い島』に出演して參りました頃の方が、かへつてはなやかでございました。しかし東亞の名聲がファンの皆様によつて高まるにつれ、いつかは世に出る時があらうかと、希望を以て働いてをります。

日活

浦邊粂子（二五）

妾も映畫界に入つてより五年目の春を迎へました。今年こそは今年こそはと新春毎に思ひながら來る年も來る年も暮らなく終つてしまひます。殊に『お涌の…』や『金色夜叉』を總作して後は自分でも不思議な程熱はなくなりましたでも本當に今年こそは一生懸命に働いて『プロフィルの魅力』だなんて、批評して戴いた御期待に報ひたいと存じます。妾の生れ年の卯歳に當たるのですもの……。

松竹キネマ

東榮子（二五）

生意氣な事を申すやうですが、日本の映畫も追々外國映畫の水準線に達するやうになりまして、昨年などはかへつて日本映畫の一部を賛美するやうな傾きさへ見えましたのは、本當に喜ばしいことだと存じます。妾共も決して喜んで指導者ばかりを頼つてゐられない時代でございます。蒲田の創立時代から働いてゐながら何時までも立派な作品を出すことが出來ず、全くお恥づかしう存じますが、今年こそ一生懸命に働いて見たいと考へてをります。

帝キネ

歌川八重子（二五）

神戸の女子商業を出て後、映畫に志しましたのは十八の年でございましたが、それからもう足掛八年、帝キネに入つてからでも五年になります昨年はアシヤ映畫で『受難の人々』や『紅…』などに御好評を戴きましたが本年もやはりさうしたものに精進致す積りでございます。アシヤ映畫も近く小說を合併致しましたので思ひ切り大規模の映畫が作れるやうになりましたどうぞ本年は相變らず、御指導の程御願ひ致します。

日活

梅村蓉子（二五）

妾が映畫界に入りましてからもう六年目の初春でございます。本當に日本の映畫界も變りました進まないのはわたしだけのやうな氣が致しますけれど、でも日活に入社してからの『□□物語』や『紙人形春の囁き』など、蒲田時代の作品に比べると今昔の感があるとの御好評を戴きまして、なほこの上共に命の限り藝術に精進する覺悟でございます。矢張可憐な下町娘の役で、小明るいやうなものが妾に適してゐるのでございませう。今年もさうした映畫に力瘤して見たいと存じてをります

東亞のベビースター　星乃花子

東亞キネマ

星乃花子（一三）

甲陽のベビースターとして籠谷監督の『狂戀の嵐』にも可憐なつゝましい役で、しつかりした腕を見せて居る。未來ある子役として期待されて居る。

回顧一年

昨年の美術界（上）

木村莊八

大正十五年は美術界にとつて記念すべき年度であります。竹の臺のバラックが消滅して、美術館が出現しました。美術界に今後採光も照明も完全なる常設館が出來たについては、大いに佐藤慶太郎氏に謝して謝さなければなりません。政府から贈三等に叙せられた譯です。一般美術界も各團體それぞれ記念畫帖等を作つて謝意を表した譯ですが

美術館の

には朝倉文夫氏作の胸像が据ゑられてゐます。思へば常設館なくして不完全極まる竹のバラックに各會を催して來たのも、長いこと〻なつて、かねがね私の考へとしては、一體藝術はその掲げられる壁面なり建物なりに密接の關係を有するものである。その點からいつて、胸もあらはな裸バラックを目當てに出品畫を繪じたのでは、知らず知らず、いはゆる文展の繪といふ式の、無やみに大きい、けばけばしい作物を醸すあれ等は作家の罪たると同時に半ば、バラック會場の罪である。大分我美術界は、今まで會場のお蔭で損失をかうむつてゐたと思ふ者であります。──この點は、一掃せられた。二月限りすつかり取拂はれて

博物館前

はすがすがしい感じと感じました。代つて新美術館が櫻の蔭に見出したわけです。然し又取り拂はれるとなると、竹の臺陳列館の、その罪は目に餘るものなれ、何といつても明治大正をかけて年々世話になつた建物。この名ごりは、惜まれる。明治二十三年三月、第三回內國勸業博覽會に當たつて建てられた東京勸業館がそもそも陳列館の若ひとなるもので爾後三十七年の間厄介になつたとある。つまりあれを出世の手段として蹴出せる者、枚擧に遑なきわけです。年々美術季節には必ず雨洩りなどで新聞種を供給したものだが、この『吉例』も今後はなくなりました……

往年の

回向院の

掛小屋の角力が國技館に變つた、あの思ひ出があります。ついては今一年の回顧として年頭以來の記錄をたどつて見ますと、總じて、年初一月二月といふ月は、年末十二月にかけて、文字通り美術の寂枯です。殊に本年は上野は閑寂としますかへつて市内各所の展覽店などに展覽祭りといつた具合の小規模な催しがある。京都諸俗小品展覽會（一月松屋）といふ風のものには、又結構氣分があつて、一種面白いものです。尤も太平洋畫會とか日本水彩畫會、槐樹社、中央美術展等、常々の陣容を持つ展覽會も數年早々逐次開催せられましたが、何といつても、美術の

露拂ひと

いつた格式で、展覽會ばらひの幕く按配です。どうも三月とならなければ、シーズンは開いて來ない。春の、魁頭の光風會創作協會となる。春陽會と春の美術季節となります。殊に國畫創作協會、春陽會等は秋の日本美術院二科會等と並稱して、純粹の民間美術團體とすべく、この他の、例へば太平洋畫會、光風會、水彩畫會等……何れも、その出品作家は別の時期に、或は帝展の出品者たり、二科會あたりの人も少しあるでせうし、これを一國一城と守るわけではない。國畫創作或は春陽會となると、この會の繪は年々この展覽會一つを得たなければ、見られない。

所謂草鞋

を一足しかはいてゐない連中の畫會するものです。──自然美術季節を乘する所以ともなりませう。國畫創作協會は新たに洋畫部を生じて、十五年春がその初めての陣立でしたが洋畫部は商業者、即ち鑑査役、少數なるだけに、おのづと選擇一通せられて、具體的にいへば、梅原龍三郎好みにふるはれた優雅な趣味の油彩が、親みのいゝものでした。川島理一郎氏達筆を示し、梅原氏、さすが一會を背負ふに足る色價の豊な、その特質のところを現しました。

大正十五年の劇壇とその將來（上）

中村吉藏

大震災以後、劇壇は逆轉して混亂的傾向をつゞけて來たが、丁度三年目の昨年度に入つてから更に方向轉換の必然さを感じて來たやうな兆候が見える。例へば昨年度における東京の各大劇場の上演脚本、二百余種の中新作物が約四割を占めてゐるといふ統計表などの必ずしも精確なものではないにしろ、一面には參考資料にならないとはいへぬ。この統計表などは、勿論商業劇場を本位としたものであるが、それ以外に、劇壇の新氣運を醸作つて行く方面の、或意味で積極的なものを全く度外視してゐないのだが、大體において、震災直後の、主に舊脚本が殆ど八九割まで古典的なもので占められてゐたのに比べて、新劇漸く新作物上演の率が増進しつゝある傾向を暗示するには足らう。

又歌舞伎の古典劇に對する新人の批評的態度がポツポツ現れて來つゝあるのも確に注目すべき一現象といへやう。古來の職業的劇評家がとかく技藝の枝葉末端にのみ拘泥して、劇の中心の生命や、又それが現代の社會や、生活に如何なる緊密な關係があるか、否かといふやうな重要な問題には全く觸れやうともしなかつた。そうした手ぬかりが、すでに大部分骨とう化し去つた歌舞伎の古典物を、習慣ながらに今日の舞臺にのさばらせてゐる原因の一つにはなつてゐやう。この意味において、新人の脚本的興味には、ある程度の積極的な力が働いてゐると見なければならない。

十五年度の歌舞伎劇方面で、特に注目に値するものはなかつたともいへるが、強いて擧げれば、左團次や、松蔦が帝劇で上演した南北物の『敵討合邦ヶ辻』の或る場面などが、相當に緊張した効果は見せてゐた。同じ帝劇で、猿之助、梅幸が、默阿彌物の『□□』の通し狂言を出したのは、近頃面白い企てといふよりも珍しい現象だつたといふべきものだらう。歌舞伎座では仁左衛門『謎の門松』や雁次郎の『椀忠』など大して世評に上らないで『心中宵庚申』の雁次郎、魁車が多少の問題になつた。

吉右衛門は『天下茶屋聚』の元右衛門で失敗して、綺堂物の新作『權三と助十』の大家さんの喜劇味に成功したが、全體としてはあまり振つて居ない。菊五郎は『忠臣藏』の勘平で、潑剌たる寫實の妙境に入つたのを讃へられたが、それ以外に新らしい興味を示して居ない。新作物方面にも努力したのはやはり左團次である、正宗白鳥の『安土の春』眞山青果の『江戸城總攻』小山内薫の『森有禮』など皆、彼の手によつて舞臺上に表現せられた。その中で『森有禮』は或程度まで成功したものといへやう、何しても、彼は常に意義ある存在である。

猿之助は笑劇的なメロドラマ『研辰』などで活躍したが、彼にはもつと新らしく飛躍るべき天地があるはずだ、劇團の新活動が見られなかつたのは寂しい氣がする。要するに、歌舞伎劇界の低迷したちの中に特に目ざましい印象を與へたものゝないのは、やがて歌舞伎劇そのものが暗默の中に、時代の急潮に押流されて行きつゝある事實を有力に物語つてゐる。

松竹のベビースター　高尾光子

豆の花

色とも見えぬむらさきは
さみしけれども豆の花
あすも菜の花にして
葉かける青きを結ぶ
廣介

濱田廣介氏筆……豆の花……

色とも見えぬむらさきは、さみしけれども豆の花、あすも葉かけの花にして、葉かけに嘗き實を結ぶ……廣介

民謠……

弦一郎

ひとりとぼとぼ
ひろのをゆけば
赤い夕日がテヽ
おちいそぐ
みちに迷ふて
水べにくれば
きしの柳がテヽ
ほろりほろ
つれにはぐれて
なく渡りどり
こよひひと夜をテヽ
どこへねる

──おはり──

奉悼

平安南道江東
金在皓
賀來茂
重松謙修
恒川清三郎
深江熊藏
赤端健一
稲田正雄
宮村又藏

平安南道
成川郵便所長
山下金次郎

平安南道順川郡□□邑
時弘商店

平壤警察署長
佐伯多助

平壤若松町
撫順炭…
井手商會
電話三六番

平壤府南門通二丁目
陶器卸商
中本商店
電話五一番

平壤櫻町
株式會社
精華俱樂部
電話二一六、四二四番

平安南道
大同警察署

平壤測候所長
松田彦三郎

仁川本町
源泰洋服店

仁川内里野菜市場通り
宮本精米所

仁川仲町二丁目
壬生一夫

仁川
伊佐山伊三郎

仁川飲食店組合

仁川龍里
張錫佑

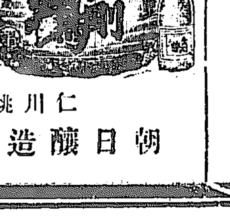
仁川
小倉柳助

仁川内里一一三
朱命基

仁川栗木里五十五番地
勸業所
仁川港町穀物協會内
勸業所出張所
電話三二七番

仁川鮮航會
（いろは順）
日鮮海運株式會社
高杉回漕部
内國通運株式會社仁川支店
大阪商船株式會社仁川支店
協同海運株式會社

於全國釀造品評會
優等賞入賞



金剛
燒酎

仁川桃山町
朝日釀造株式會社

仁川精米業組合

仁川宮町
京城電氣株式會社仁川支店
電話三二四番

株式會社
仁川米豆取引所

奉悼

有賀光豊　富田儀作　和田[illegible]　[illegible]一　韓相龍　三原[illegible]　井内勇　[illegible]左郎　秦[illegible]一　米山梅吉（東京市赤坂區青山南町六ノ一一六）

[illegible]八　武者錬三　[illegible]　河内山樂三　[illegible]　香椎源太郎　[illegible]耕平　松寺竹雄　天日常次郎　矢鍋永三郎

今井[illegible]一　池田佐忠　[illegible]一　[illegible]　[illegible]　李軫鎬　大島良士　住井辰男　[illegible]一　[illegible]三

警務局長 松村義一（東京市麹町區[illegible]）　[illegible]重樹　代理 [illegible]　澤田豊丈　水沼千鶴　赤木萬二郎　佐藤七太郎　京城[illegible] 本派本願寺 斯波随性　[illegible]　[illegible]

西村篤雄　戸田直温　内海淑郎　[illegible]　[illegible]一　代理 今村覚次郎　[illegible]三郎　[illegible]　大久保眞敏　川村嘉一

汽車の誕生 今年で百二年

日露戰役から開通した朝鮮鐵道の話

英國のジョーヂスチブンソンが蒸氣力で動く汽車を發明して今年で百二年になる。これが實際に利用されて貨客の輸送に當てられたのは英國リバープルトマンチエスター間の出世で西暦一八三〇年の事である。恰度今から九十七年前の事だ。或る西洋の交通學者が十九世紀後百年間に於ける交通機關の發達は有史以來數萬年の發達よりも顯著であると言つてゐるが全く同感である發明以來百二年、實地利用後九十七年にしかならぬ今日、世界の鐵道は實に百六十萬基に達せんとし、之の鐵道を背景として全て社會組織は樹立されてゐると言つても過言でないまでに到つた、それは餘りに鐵道を偏重するものだと言ふ人があつたなら今の世界に全然鐵道の無い場合の事を考へて貰はう『陸には自動車あり、海には汽船があり水陸兩用には飛行機もある』と抗議するも宜からう、然しそれは徒らに鐵道を價値づける例證に役げられたに過ぎない、如何に船頭が多くても船を丘に上げる事は出來ない、自動車で五百噸の貨物千人の人間を運ぶ場合を考へて見ても良い、汽車だつたら汽笛一聲新義州を出れば五百噸の貨物、千人の旅客を翌朝は六百哩を距てた釜山に運んで聯絡船の廻航を待つてゐる、現代の飛行機に到つては言ふだけが野暮でまだ試驗時代をイクラも出てゐない、全く汽車を知らずして現代の陸上交通は談ずる資格を與へられない

日本ての汽車の歷史

日本に於ける汽車の歷史は嘉永六年の西暦一八五三年ペルリが初めて浦賀に來航した際機關車模型を幕府に獻じたのが最初である。鐵道は東京橫濱間十八マイルで明治二年に計畫され同五年に營業を開始してゐる、營業が機會に良好で漸次分の利益を收め得た事と物珍しい好奇心とからその後鐵道の計畫が續々出來て十年には六十五マイル、二十年には五百九十三マイル三十年には二千九百七十五マイル四十年には五千百五十八マイル、大正六年には實に七千六百七十五マイルといふ莫大なマイル數に達するに至つた

明治卅八年に京釜線開通

京仁線の起工が魁け

朝鮮線の歷史

朝鮮では京仁線が一番早く起工され次ぎが京釜線である。京仁線は明治卅一年邦人の權利に歸し卅三年起工し後京釜線へ買收されてゐる、京釜線は卅四年邦人の手で起工し卅八年にその三百余マイルが全部開通した、創業以來今年まで二十三年になり現在營業線一千三百卅八マイルおよび其間四倍半の線路で例の十二ヶ年計畫が遂行された大正卅七年には二千六百七マイルの鐵道を有するに到る不遇にして逝つた發明者のジョーヂ、スチブンソンは百年の後、東洋の一半島にさへ千三百マイルの鐵道が走り官民擧つて其延長に努力してゐる。まつては後世知己を得、滿足なほゝ笑を洩してゐるであらう

十二ケ年延長計畫

朝鮮の十二ヶ年延長計畫は官線の延長五線八百六十マイル私鐵の買收五線二百十マイルをいふもので車輛の增加、既設線の改修も伴ふ事になつてゐる官線中元山、浦項間、雄山、浦山間百四十余マイルは東海岸線といつて江原道の東海岸を走る線で同地方は急峻な海に迫る山岳地帶であるが海岸には幾分の平坦地があつてソウ難工事の線路ではないさうだ、この線路の經濟的價値として狹谷の農產物、木材、鑛產物、水產物などを擧げられてゐる一體江原道に何程の產額があるか知らぬが同線路は六千三百萬圓といふ巨額を投ずる大工事である、その他汽車を運行せしむる樣になれば車輛費、營業費も見積らなければならぬ十四年の官線における成績そのまゝを持つて來て先投資額に對し一割二分の營業收入があるとして七千萬圓の投資とすれば年八百四十萬圓の收益で內營業費として收入の八割を要するとすれば恰度六百七十二萬圓となり差引殘額は百六十八萬圓となり七千萬圓の投資額に對して僅に二分四厘の利益である、現在官線の成績を基礎としたものでさへ以上の成績である、マシテ既設官線以下の經濟價値しかない東海岸線の場合は十二ヶ年後でも必ずヨリ以下の數字を見なければなるまい

慶全線

私鐵の買收

い恐らく收支決算を試みれば莫大な缺損となろう。たゞ同線開通後は京釜、京元の各線が洪水の事故で不通となつた場合釜山から元山に出て京城に出る事も出來、平元線を通つて平壤に出て更に北行する便宜もある、朝鮮の交通聯絡上から見たならば同線は正に朝鮮の鐵道にエポックを劃するものである

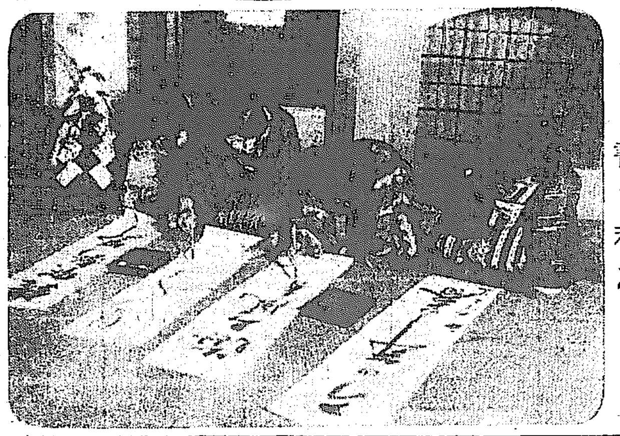
慶全線、これは朝鮮鐵道會社の馬山晋州間の慶南線、松汀里、潭陽間の同社全南線、全北鐵道會社の裡里、全州間の各線路晋州、潭陽、全州を谷城で結びつける線路で前記三私鐵の買收が伴はなければ用をなさぬ鐵道である、十二ヶ年計畫線の內三線は實に前記私鐵の三線が加へられてゐる。この線路の全通と共に馬山と湖南線の松汀里および裡里が全北の谷城によつて結ばれる結果、釜山方面から馬山に行くに京釜、湖南の迂廻を要せず慶全線の利便となる譯である

私鐵に有利な法律案

元來日本の樣に鐵道の國營を方針とする國では幹枝線たりうる鐵道要地區には努めて官線の敷設を圖り私鐵は局部線に限つて許可する方針を執らんと飛んだ手違ひを生ずる場合がある、買收論から今度買收する私鐵五線は殆と全部それだ、といつて現在の當局を責める譯ではない。過去の當局が余りに無定見だつたと思ふ。序に私鐵買收の事をいつて置くが今度買收する私鐵は全く私鐵本位の方法で買收法案は投資額に對し最近三ヶ年を平均した一ヶ年純利益の二十倍で買收する事になつてゐるが朝鮮では私鐵に有利に改正した法律案の三ヶ年に滿たぬものは投資額以內で買收する事になつてゐるが朝鮮案にようしむべく目下買收法案の制定中で、この五十二議會に提出されるはずである。それによると朝鮮の私鐵の樣に損ばかりしてゐる所では年五分の純利益を收めて恰度投資額だけにしてられぬ卅九年の遞信では五分以下が總損してゐる樣な譯は投資額以下にしかられぬ事になるからそれでは可哀想だと投資額だけは買收出來る樣になしまた交付公債の額面で見積つては實際の時價より安くそれでは私鐵の方が損をするからと甚だいたれり盡くせりの法律案である。

廣軌を原則に私鐵許可

かうして買つた私鐵が直ちに使用出來るかといふにソウではない、馬山、晋州間、松汀里潭陽間こそ廣軌で不自由ながら使へるが裡里全州間の全北鐵道などは新に敷設すると殆ど同額の改修費を注ぎ込んで廣軌に改めなければならぬ、假にこの全北鐵道が一割の利益を擧げ五十萬圓の投資であつたら買收費は百萬圓で、この百萬圓は殆と死金となり新にまた數百萬圓を投じて廣軌に改める事になる。國の事業とは云ひながら實にその間の冗費は大したものである。だから私鐵許可は局部線のみとし幹枝線の豫定線は官線として計畫する事が必要である。當局が目先の仕事ばかり考へてゐる間は駄目だ。十二ヶ年計畫などに有頂天になる遑大な計畫をたてゝ朝鮮の鐵道網の根本策を作成せぬと多大な國費を濫費せなければならぬ。がタッタ一つ朝鮮なるが故に安心なのは朝鮮の現狀では私鐵を廢設しても八分の補給金を拔にすると大丈夫五分なんて利益を收め得る所はあるまい。さうすると自然買收額も投資額を出ないといふ事になる。だから今後官線の豫定線でも廣軌といふ制限つきまで私鐵に一時敷設させて置けば大した國費の濫費もなさずに濟まされよう。これだけは朝鮮の樣に人も少く鑛物も少く鐵道の利益もない所だからわれ〳〵が考へうる將來へのたつた一つの期待である。



書き初め

國境線の經濟的價値

十五年十二月九日づけの夕刊に大村總督府鐵道局長の談として紙上に報道された惠山鎭線の敷設が擧げられてゐる。これは私も大村局長から直接聞いた話だが惠山鎭地方の高原地帶が牧畜に有望な所で監し同線は經濟的價値が乏しく觀算だと局長は口を極めていつてゐる、私は惠山鎭線も滿浦鎭線もこの國境の二線を經濟線とは思へない。この二線は經濟的價値よりも寧ろ他に重大な意味がなかつたらうか。それは國防と警備である

國防と警備の關係

今工事中の咸鏡線の雄基から圖們方面より國防と警備の關係から敷設を急がれたもので、それ等の關係から推しても前記の二線を國防と警備上から起工されたものである事は明かでこの二線に對して經濟的價値を力說する事はいふに落ちず語るに落ちた感がする。鐵道の開通によつて國防と警備の實も擧げかつ經濟的にもこれを利用すれば實に四方八方喜ばしい事ばかりではあるが國防と鐵道について一言して見ようなら國境における鐵道は國境において最も必要な事で歐洲大戰の際、ドイツが彼の目覺しい活動をしたのは一に鐵道の普及と道路の發達に負ふ所が甚大である、しかし朝鮮の國境は多少意味をことにする若朝鮮の國境に日本が大兵を出動させる樣な場合は日本の國軍は過半余鐵道を利用して兵を送る効果も力した國境以外にはあり得ない。そウもない場合の事だ、次ぎは國境警備上の問題だが匪賊は集散的のもので々十名以內の僅少である、鐵道で匪賊を驅逐するまでもなく駐在せる守備兵と警官とでこれを防ぎ得ぬ心配もあるまいしかし山深き人跡稀な所に不自由を忍んで動いてゐる人々の事を思ふと鐵道の敷設も自から意義を生ずる

工費六千五百萬圓

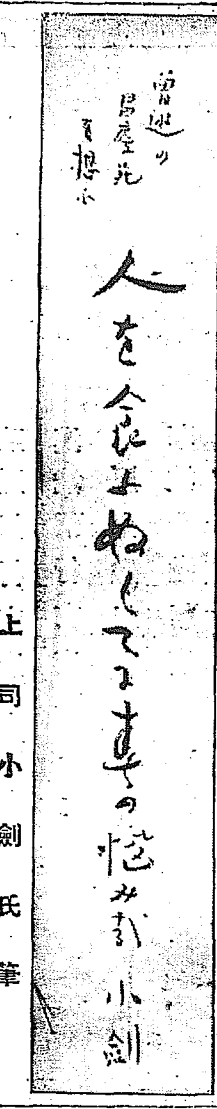
がその財源として工費六千五百萬圓は安くない、所がこの兩線に將來一つの期待がかけられる、といふと何でもかんでも一つづゝ期待を將來に殘す樣であるが當局も恐らくこの二線の延長はその一つの期待に釣かされてゐる所が多い樣に思はれる。それは滿浦鎭線は滿洲に延長し撫順と結び惠山鎭線は吉會線と結ばれる長春と滿浦鎭と結ぶ撫順との中間線として滿鐵本線四平街の北方附近に結び滿洲の物資を安奉、吉會、滿撫（滿浦鎭撫順）惠四（惠山鎭四平街）この四線によつて朝鮮に導き朝鮮をその吞吐港たらしむ事である、これを除いては前記二線の經濟價値は全くゼロだ

七億圓 十二年計畫の投資額

圖們鐵道、雄基から私鐵圖們鐵道終點潼關鎭までの工事で圖們鐵道の三十六マイルを買收して會寧に聯絡させ將來吉會鐵道開通したら北滿方面と滿洲方面へと分捷する事となる吉會線の終端港を雄基にするか淸津にするかの問題が出るゆゑんである、買收する圖們線は廣軌線だからそのまゝ使用されるし吉會線の開通を待つまでなく新線の沿線には廣大な森林があつてこの森林開發のみでも充分な經濟價値を認められてゐる。十二ヶ年計畫は以上說明したものの外に鐵道東線（狹軌）の買收があつて先づ大略の說明を終つた樣に思ふこの計畫遂行後朝鮮の投資額は約七億圓に達する

九百卅六萬圓の純利益 十五年度の鮮鐵の成績

十五年度末は約二億八千萬圓で貨客收入から營業費を差ひいた純利益として總督府に納入する金額は九百三十六萬圓で約三分三厘に當る、この割合で行くと十二ヶ年後の純益は二千三百四十萬圓とならなければならぬ、無論文化の向上と殖產工業の發達は貨客の增加となつてより以上の成績を擧げるに至るであらうが必ずや東海岸線、滿浦鎭線、惠山鎭線の如き新計畫線は他の既設線から多大の補給を得て漸く平均收入に達するであらう未開地へ未開地へとドシ〳〵線路を延長して行く事もよい、しかし鐵道事業は貨客がすくないから營業費もすくなくするといふ具合には行かない、保線費、驛員の給料驛の維持費など殆ど貨客の大小に關係なく一定の額だけは必要なものでありまして巨額なる工事費に至つては一度投じた以上減らすとも出來ぬ、汽車の石炭代、乘務員給料、貨車の損料などの一部が貨客の增減と正比例して增減して行く（向江生）



上司小劍氏筆

奉悼

公州 小林增太郎

公州 牛木新吉郎

公州 水沼知一

忠淸南道公立師範學校 職員一同

忠淸南道立公州醫院 職員一同

公州刑務所 職員雄心會

公州電氣會社 支店一同

茂山公立尋常高等小學校校長 中島喜久造 愛知縣

茂山公立普通學校校長 中島雄飛 愛知縣

茂山邑 小松榮吉 電話三四番

第十九師團御指定 咸鏡北道 吉田屋旅館 電話四八番

成北茂山邑 陸軍御用商 雜貨 金礦來商店 主 金礦來 電話十三番

咸鏡北道北部十郡聯合酒類會 二等賞受領 茂山酒造商會 主 成北茂山

專用白頭山 茂山釀酒場 電話一四番 成北茂山

元山元山府本町三丁目 飯山洋品店 電話長六五番

元山府春日町 廣瀨茂平

元山本町三丁目 堺屋時計店 電話二一八番

元山仲町三丁目 堺屋支店

元山府仲町二丁目 洋酒食料品 明治屋 電話二五七番

茂山邑 御料理 梅月 電話十五番

茂山 御料理 都樓 電話五〇番

成北茂山 木下元一郎 電話一〇六番

元山府海岸通 竹井三郎

忠淸南道金融組合聯合會

公州郡廳員一同

公州公立高等普通學校

茂山郡廳職員一同

白山 紅露 桃園 延社酒造組合員一同 成北茂山郡延社

忠淸南道廳 食堂員一同

平安南道安州 安州無名會

平壤慈惠醫院 職員一同

平安南道 大同郡廳

平壤專賣支局 職員一同

平安南道成川郡 專賣局成川出張所 近藤修一

平安南道 成川金融組合 大西捨松

平安南道 成川警察署々員一同

平安南道 成川郡廳

平壤若松町 安川松本商店支店 電話六一六番

平壤商業會議所

平壤府廳職員

平安南道 道廳食堂會

奉悼

水原金曜會
殖産銀行支店　電話一五四番
漢城銀行支店　電話四番
水原金融組合　電話一五七番
華城金融組店　電話一一七番

水原本町
江口清光堂　電話五一番
加茂履物店　電話一〇八番
谷口小間物店　電話三七番

京釜線水原
苗具肥料
株式會社 富國園
電話二一、一三一、一八五番

朝鮮京釜線水原
米穀雜貨貿易商
青木商會
電話二〇番・三五番

水原松函石油組合

朝鮮水原
水原電氣株式會社
電話四九番

朝鮮水原驛前
水原商事株式會社
(水)運輸部
電話二一〇番

水原醫師會

朝鮮水原南大門外四ッ角（私書函水原局一號）
移出入商 綿布雜貨穀物肥料
竹下平三郎商店
電話一一六番・二一六七番 振替京城二一四六番 電略（タケ）又は（タケシタ）スイゲンタケシタ

水原殖林種苗株式會社
專務取締役 近藤虎之助

水原承認運送店組合
(テ) 承認寺澤運送店 寺澤捨三郎　電話二一四番
(水) 承認水原商事株式會社運輸部 森元俊之助　電話二一〇番
(十) 承認朝鮮運送店 安弘烈　電話五四番
(共) 承認共益運送店 李光鉉　電話一四一番

水原驛前 山本旅館　電話二六番

水原驛前 巴商會洋服店　電話一四三番 振替京城一五六三

水原驛前 土木建築請負 賴岡龍藏　電話四五番

南滿洲鐵道株式會社 撫順炭特約販賣 一手販賣 三國商會水原代理店
朝鮮總督府鐵道局指定 水原驛前
(分)坂手商會　電話二九番 振替京城四八一五番

朝鮮水原驛前 雜貨商 磯崎建藏商店　電話一〇三番 振替京城三〇四八番

水原城内 山崎呉服店 サービス部　電話四〇番

水原本町 西川履物店　電話三六番

水原八達門外 松永仁壽堂藥局 藥劑師 松永寛　電話一三一番

水原本町 バーソン號 アサヒ號 ヤナダ商會　電話二〇四番

水原城内 神崎呉服店　電話二二番

水原仲町 喜多村洋服店　電話二八番

水原城内一〇一 農具製作 指物一切 脇田支店　電話一〇〇番 振替京城一五六三番 本店 大阪洋[illegible]所

水原城内 水原釀造合資會社　電話五八番

水原城内 和洋紙卸商 活版石版印刷 近藤商店　電話一七一番 振替京城二三九四番

西松組京城出張所　京城府花園町六九 電話本局二七二番

京城長谷川町 金川組　電本一二八四番

京城太平通一丁目 金川食堂　電光一四四番

茂山營林署
署長林學士 伴寅亮
業務主任 飛永庄次
庶務主任 野口豊喜

京城府漢江通一一 盛陽社　電話龍山一六五番

京城水標町二丁目五二番地 帝國製麻株式會社 京城出張所　電本一八三〇番

龍山漢江通十一番地 吉田醫院 醫學博士 吉田得次　電龍四八番

京城府本町一丁目 合資會社 北內商店　電話本局二一五二番

朝鮮土地經營株式會社　電話本局一一五二番

京城煙草元賣捌株式會社

大福海上火災保險株式會社 京城出張所　京城府水標町二丁目 電話本局長一三三三番

京城穀物商組合
京城精米組合

京城府太平通二丁目 大海堂印刷所　電話本局三一七、一六〇番

日清生命保險株式會社 京城支社長 犬飼寅太郎　京城府太平通二丁目 電話本局一四九六番

京城驛前 鐵道指定旅館 二見館 篠塚たま　電話本局二六八八番・二一五二番

京城明治町二丁目 梅澤呉服店　電本二二五番

京城黄金町二丁目 村上硝子瓶店　電話本局二三二四番

京城南大門通三丁目 南大門食堂　電本四〇六四番

京城本町三丁目 木島時計舖　電話本局一三九番

京城明治町二丁目 坂井藥房　電話本局一四四四番

京城本町二丁目 ダリヤ喫茶店　電本四一八番

京城若草町一〇六 西村元　電話本局二二六三番

京城大和町憲兵隊本部四ッ角 クリーニング 毛織物洋服類 西洋洗濯 丸洗 丸染 洗張 大和屋　電本局五二五番

京城本町三丁目 森政吉商店　電話八三〇番

京城府龍山元町三丁目 藤田安之進　電龍五五一番

京城南山町三丁目 總督府御用 江川菓子舖 江川文吉　電本二一〇四番 振替京城二〇一九番

京城本町三丁目 岩見呉服店

京城明治町二丁目 野口和三商店　電話本局一五八七番

京城水樂町二丁目 各種パン和洋菓子製造元 陸軍番官御用 各學校御用達 神戸屋　電話本局二〇五番

京城明治町 小林靴店　電話本局三五七一番

京城長谷川町 初田活版製造所

京城本町二ノ二明治町通 貴金屬寶石裝身具製作販賣 土橋金光堂　電話本局二一二〇番 振替京城六二七一番

小高榮三郎

龍山元町三丁目 こまや呉服店

京城府明治町一ノ五四 表具師 佐藤群芳堂　電話本局三九六二番

株式會社 京城株式現物取引市場

朝鮮土地改良株式會社

株式會社 日本蓄音器商會 京城支店

東洋拓殖株式會社

三井物産京城支店

京城藝業組合（イロハ順）
磯部　井門　一日園　白水　はり半　千代本　千歳　花月　花仙　花月別莊　川長　加茂川　甘泉亭　玉喜　瀧酒家　立花　南山莊　浪花　松葉亭　松園　眞砂　松清　富久助　五木庵　權平庵　江戸川支店　惠比須　旭壽司　咲良喜　笹酒雪　京喜久　喜代中　喜久榮　錦水　勝利

京城本町二ノ一〇
鳥料理 京喜久
電話本局一三六三番

本券番

花園町公設市場
販賣人組合

京城
新町遊廓組合

うさぎの話

お月さまに見立てられた兎

臆病でやさしい動物

昌慶苑動物園のうさぎは今年は僕の年だとばかり長い耳を打振お屠蘇で醉つたよりまだ赤い眼を光らせて白いひげをピク／＼させてはねまわつてゐる

神との縁故

◇——◇

昔にうさぎは柔和な思慮深い從順なそしてよく人に愛される動物である昔から各國の神話に傳説に童話に寓話に俗諺にと書きたてられてゐるそれ程縁のない純真な動物なのである、それで神様とも隨分縁故が深い、因幡國高草郡内海村の海邊にある白兎社といふ社は往昔大國主神が稻羽のしろうさぎを救したといふ神代の遺跡である又支那の韓愈の毛穎傳には『其先明視、佐禹治東方土、養萬物有功、因封於卯地、死爲十二神』とある通り古來十二支の中に數へて神の部類に入れてある今年はその卯の年に當たるのである

月との關係

又うさぎと月とは昔から極めて密接な關係があつて『月の中でうさぎが餅をつく』といふ事は何處の國でも古來いひ傳へられてゐることれは月の中に丁度うさぎが杵を持つてゐる樣な形が見えるのでいひだした事と思はれるが支那ではうさぎが月の中で藥をついてゐるといつてゐる俗謠にも

うさぎ／＼何見て跳る
十五夜お月さん見て跳る

といふ有名なのがあるまた面白いのにこういふ傳説があるウサギは他の獸類と違つて鳥と同じく八竅であるそして雌がないので月を望んではらむ者で子を生む時は口から生むのだと格物論にも『無雄望月而孕』とあり王充論衡にも同じく口から生むことが鎭前目に書かれてある。

金烏の由來

それで古來月とウサギといつて日の金烏と併せて月日の事を兎烏と書き一般に通用して來たのである我國でも最近までは一般にウサギは一穴であると思ふて鳥類と同樣に一羽二羽と數へてゐた。このうさぎには飼うさぎと野うさぎとあつて種類も又澤山ある。飼うさぎの祖先は地中海附近、アフリカ等に繁殖してゐたのをヨーロッパ人によつてスペインに輸入され、それから歐洲、支那本邦に渡來したもので、支那、朝鮮内地に飼育されてゐるものは殆ど支那飼うさぎである。」

多産な動物

うさぎは哺乳動物の中で非常に多産な動物で年に六回、一回に六七疋を生む。生まれた子うさぎは生れた時は全く眞裸で十二三日たゝねば毛が生えない。子思ひの母うさぎは可愛い赤ん坊の爲に自分の腹のやわらかいそして暖い毛を拔いてそれでくるりつと包んでやる。うさぎは非常に自分の兎を人に見られるのを嫌ふ。殊に自分の子うさぎに手でもつけやう者ならその子うさぎを食つてしまつたり乳も飲ませず見向きもせず餓死せしめたりする。

臆病で弱い

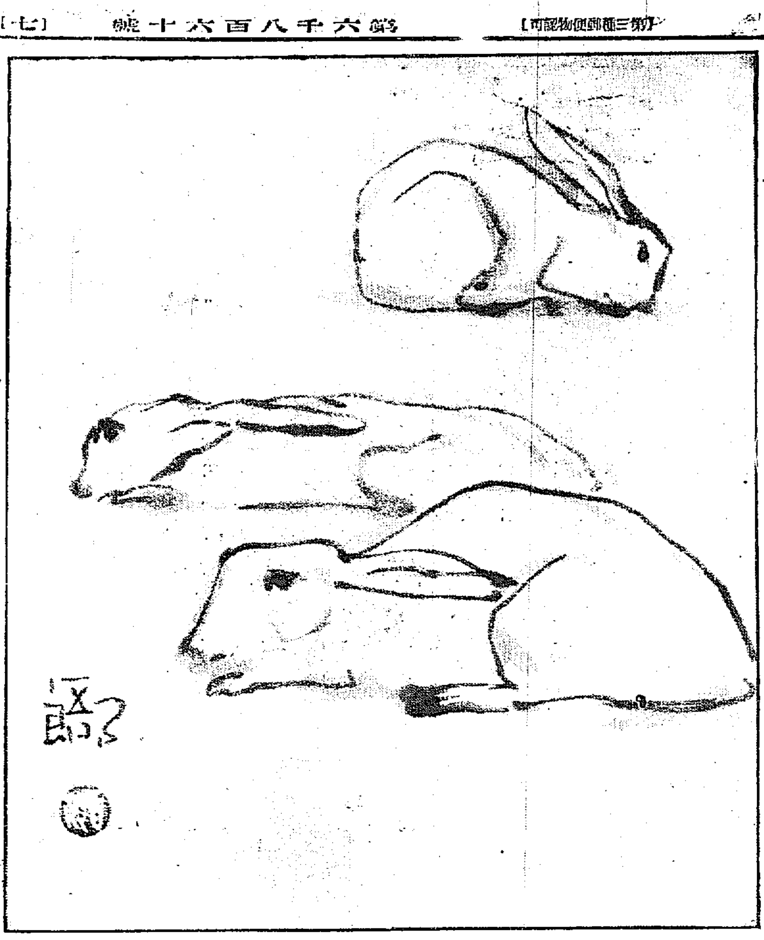
うさぎは又他の動物に比べて最も臆病で最も弱い動物で食物をさがすも夜間でなければ穴から出てさがさない。大きな聲を上げて嚇く樣な事もめつたにない。これ程臆病なうさぎが軍隊を出動せしめたといふその樣な事實がある。それは昔ローマ帝國時代にバレアリック群島に移住した白人が非常にうさぎを愛し野に放ち飼ひをした。其うさぎが氣候や土地に適し食料が豐富なので、たちまちの中に全島に繁殖し耕地を荒し山林を害し非常に住民に損害をおよぼしたので住民は時のアーガスタス帝に向つて軍隊の派遣を乞ふてこれを驅除したといふ事である。

猛烈な繁殖力

またその外にこういふ例もある。濠太利亞洲にはもとうさぎは一疋もゐなかつたが、今から二百廿數年前歐洲から飼兎と山野兎を輸入しこれを各地に移殖した處が氣候の適したのと、食物が豐富なのと、他にうさぎを殺す鳥獸類がゐなかつたので非常に繁殖し、遂には山林牧場を荒し牧羊業や農業に大損害を來したので同地方の地主耕作者はいたく之に苦しんで罠を造或は毒藥を混入した食物を撒いて毒殺をなし、又は蛇を屠殺しその他鳥これらの敵獸をうさぎに移して驅殺させ、或はうさぎが水飲みに來た處を網で捕獲する等、種々工夫をこらし莫大の費用を掛つて撲滅を試みたが、僅に一時その數を減じたのみで、その效驗は見られなかつた。ニュ・サウス、ウエールスだけで千八百八十三年から千八百九十年まで七ヶ年間の費用は實に八十萬三千五百七十四ポンドに達し一ヶ年間に二千五百二十八萬頭を殺したといふ事である。

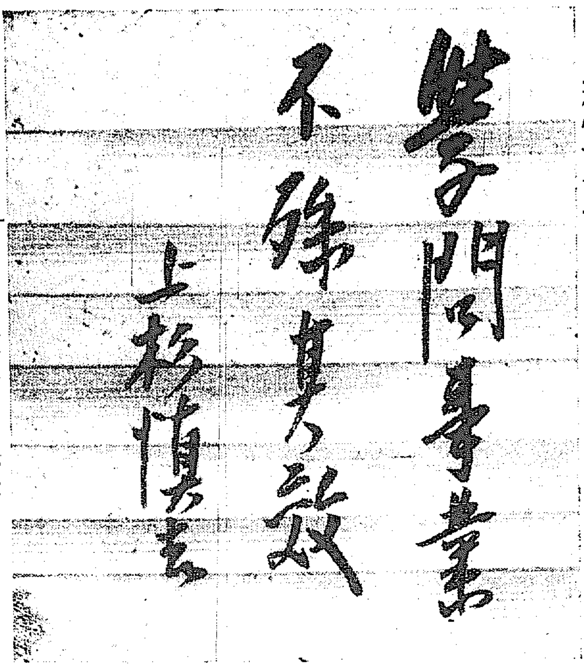
兎の利用法

今日は大いにその驅除事業を繼續しかつうさぎを飼育するよりも毛皮を利用する途を設けて自然にこれを捕獲する事が多くなり、うさぎ同志の生存競爭も激しくなり幾分か自然の平均を得てもと程の害がなくなつたといふ事であるが、可愛らしい最も弱いうさぎでもこうなればあなどられないものである



◇——◇

鶴田吾郎畫伯筆



上杉愼吉博士筆……學問事業不殊其效

童謠

本社編輯局選

一等　餅つき兎

淸雲公立普通學校五年　金榮道

明るくさへた月のぼん
裏の小川に出て見たら
サラ／＼淸水に銀の波
波の底から響かする
淸水の底に響かする
ペッタラ／＼杵の音
小川の岸の樹かげに
波にゆられて銀の月
月の御家でペッタラコ
兎が餅を搗いて居たッ」

二等　兎

木浦府公立小學校六年　原徹

お山の正月
晴れ日和
うろうろ兎が
木の實うり
日南の小道を
エッサッサー
「木の實はぬか
正月木の實
今年は私の
あたり年」
ふれてあるくと
木の上の
鴉君が
カアオカオ。」

三等　兎の子

淸雲洞公立普通學校五年　吳麟鳳

家の兎が
子をうんだ
かはい／＼
子をうんだ
雛のやうな
子をうんだ
小さいおめめは
赤かつた
お耳とお足は
長かつた。」

佳作

ウサギ

京城大和町一の二二　尋二　堀田重忠

ウサギピョンピョン
キツコウレッシャ
ウサギノキシヤガ
ハシツテ行ク
ユキノフル日モ
ウサギノキシヤガ
キウコウレッシヤデ
ハシツテ行ク

兎

京畿道江華郡江華小學校尋六　江崎弘

一、兎さん／＼お前のお耳は何故長い
母さん言ふ事きかないで
耳を引かれて長いのか
僕が幾度もたづねたが
長いお耳をふるばかり
二、兎さん／＼
白兎
お前のお目目は
何故赤い
鏡とかけくら
した時に
負けてくやしく
泣いたのか

兎

釜山草梁町四二三　尋六　松澤潔

一、赤いお日様出る朝に
お山の中の小兎は
きれいなおべべで
遊んでる
母さん『かるた』を買つてよと
二、青い草からドンがなる
お山の中の小兎は
皆のお家をつくります
皆でぴよん／＼
とびこえる。
三、白いお月がでるよさに
皆のお家の小兎は
皆でかるたを
とりませう
母さん、はよこねまつてるよ」

奉悼

元山本町　貿易商　小林儀三郎　電話一五〇五番・一〇三番

元山商業會議所

元山　銀行團土曜會

元山府廳職員一同

元山郵便局職員一同

元山　菱濱忠太郎

元山　會社團水曜會

元山府泉町　御料理仕出　丸芳本店　店主　上田芳太郎　電話一六五〇番・二番

在元山　公立各學校職員一同

旅館　山火湯　電一六番

延白自働車部　海州支部　電二〇一番

海州金融組　電一五四番

紺田果樹園

織居自働車　黃海本部　電一三一番・五七番

笹屋旅館　電一三番

內外製菓卸問屋　賞美堂　電二五四番

酒類卸　竹田屋商店　電二三九番

井川洋服店　電二五六番

岡田自働車部　海州支部　電一七二番

ほねつぎ專門　都倉診療所　小町郵便局前

樋口甲子藏商店　金物　電二六一番

筑紫藥房　店主　秋山優　電二四九番

海州食堂　電二五二番

富士苔灘農場　電三九番

園田齒科醫院

土木建築請負業　林慶助　電五三番

洋家具製造業　河野松吉商店　電一七九番

萬代龍助商店　電二九番

熊谷　電二三七番

海州電氣株式會社　電一六六番

煉瓦並瓦製造販賣　榊原喜三郎

池田寫眞館　電二七九番

黃海自働車部　海州支部　電一六番

土木建築請負業　工藤金平　電二〇七番

黃海道金融組合聯合會　職員一同

黃海道廳　今村武志

黃海道金融組合　理事一同

黃海道廳　食堂員一同

黃海道土木協會

土木建築請負業　貴志新五郎　電二七五番

在龍塘浦　西鮮漁業株式會社

仁川汽船株式會社　龍塘浦出張所

中島茂三郎商店　電一〇二番

辯護士　金永烈　電二二七番

黃海道友會　宇山商店　電二七〇番

黃海道原蠶種製造所　職員一同

海州西門外　飯村農場

海州郵便局　職員一同

奉悼

京城府漢江通り十一
間組營業所
電話龍山 一〇二四番 四四〇番

東京 大阪
京城明治町二丁目
美粧倶樂部京城支部
田中直
電本局三七二七番

遞信局高等官食堂

高瀨合名會社京城支店
京城府南大門通三丁目九五

京城府鍾路二丁目
角田洋服店
支配人 力石安吉
電話本局 一五九五番 一三三〇番

京城質屋組合

宮崎式ペーチカ
宮崎組本店
京城龍山驛前
電話龍山八四二番

內國通運株式會社
京城支店

特製 **和洋式帳簿**
各種取揃へました御用命は是非シノザキに御願致します
和洋式帳簿 文房具類 測量諸機械 運動用具
京城府本町 **シノザキ商店**
電話本局 六四八番 二三〇二番
振替京城一一五四番
カタログは御一報次第早速御届け申します

京城承認運送店組合

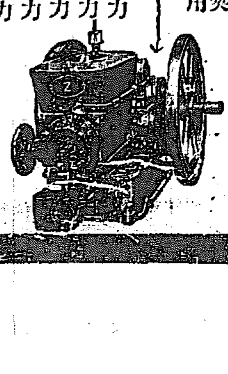
京城旭町二丁目
御料理 **ち里半**
電話本局二九一二番

朝鮮總督府專賣局製品
蔘精
朝鮮京城本町二丁目 **普生堂藥房** 電話一三八 振替七六一一番

京取市場所屬
仲買人組合員（登錄番號順）

一	有田長
二	大林淺市
三	白井友之助
四	洪殷柱
五	正崎長之助
六	金應龍
七	古川陸治
八	田中友吉
一〇	京城證券株式會社
一一	成淸竹松
一二	松山主計
一六	新田耕市
一七	定岡富二
一八	田中道太郎
二三	金潤秀
二六	白樂三
二九	市川幸次郎

國家經濟を重ずるならば
優秀なる構造最も安全なる裝置始動容易運轉確實故障皆無のゼット發動機の御使用を御奨め致します
米國フェーアバンクスモース會社製
ゼット石油發動機
農林省御推奨 高級農工業用



ゼット 二馬力 三馬力 六馬力 十馬力 十五馬力 二十馬力 ゼット
"Z"

ゼットはマグネット保證付で絶對安全
R型新式マグネットは製造元たる米國フェーアバンクスモース會社獨特の設計に係る「アール」型高壓回轉式にして絶對責任を以て御買上の日付より向ふ五ケ年間保證し萬一故障の場合は各地販賣店に於て何時にても無料交換致します
販賣店 京城若草町 **楠本吉太郎商店**（電話本局一九七五番）
ゼットの眞價をより以上發揮さするには最も權威ある動力農具の選定が第一
ナショナル精米麥機
同 唐箕付
淸水式精米麥機
渡邊式ゴムトース
酉島式揚水ポンプ
在庫豐富

Ford
フオード

純正フオード部分品
特約販賣店のみより御購求を乞ふ

フオード自動車及トラック所有者各位は、當社の特約販賣店のみより、フオード部分品を御購求遊されんことを御勸め申上候。特約販賣店は當社との契約に基き、純正フオード部分品のみを取扱ひ、且つ懇切に御奉仕可申上義務を有し居り候。

朝鮮にはフオード部分品を賣る大小多數の店舖有之候。併し多くの場合模造品又は模造品及純正品混合のものを提供し、それに依りて公衆を欺き居り候。

模造品は常に劣等の材料にて作られ、且つ其多くは危險極まるものに候。假令賣價低廉なるときにても、斯る品を各位御所有のフオード車に御使用相成ることは甚だ不利益と存候。

此故にフオード所有者各位は必ず
純正フオード部分品を主張
せられ、且つ最寄の特約販賣店のみより御買求め遊されんことを、茲に最も強く御勸告申上候。

敬具

純正フオード部分品のみを用ゐて、事故を未然に防止せられよ。

日本フオード自動車株式會社
橫濱
御用は最寄のフオード特約販賣店のみへ

柳澤騷動【93】

桃川如燕演
田代曉舟畫

太夫を請出

◇……眞田山へ遊興……◇

池田屋の手代勘兵衛は小池屋四郎兵衛の問ひに答へて 勘『金子はこの吉田屋で受取ることにいたしませう』 四『それでは明日持參いたし證文と引替へお渡し申すでございませう』 勘『よろしくお願ひ申します、只今一獻差上げますまづまづゆるりと御休息なさいまし』 四『有難いことで、御馳走をお待ち申してをりました』四郎兵衛大悦び、その內に結構な料理が出た、澤潟の膳、四郎兵衛は夢ではないかと思つた、をいたすは美しく着飾つた女二人、この料理をムザムザ食べるは勿體ないと傍の兵衛へ請込み、香の物で飯を濟ましたが、たゞ一つ心にかゝるは鴫、これは持つて行くことが出來ない、そこでこれだけはガブガブ飲んでしまひ、金子は必ず明日持つて出ますと勘定場にいひ置き重箱を提げて吉田屋を出たが、僕に醉が出て足下がフラつく、轉作では重箱の料理を損すると目八分に重をあげ拾足をしてやうやう廻つて來たが 四『さアさア皆ンな此處へ來イ、甘い料理を貰うて來たぞ、見ろ、この美しいことは、口をつけるは恐れ多いやうに思はれる』皆の者がでんぐりかへるから、よく魂を洗濯て食べる 女房『まア有難い事でございます、年來心掛ておりました玉子燒きに漸く對面いたすことになりこんな嬉しい事はございません』といつたが、玉子燒きを親の敵だと思つてゐる 四『これといふも皆金ゆゑだ、シテ見れば金ほど威光のある物はあるまい欲しうまい物をたべた時は惣菜の物はたべられまい、ところでナ、そのうまいものをたべるは夢と思へさアさア夢のさめぬ內に龍鍾をたべろ』といつたが此方で困つたはこの時は借主の堀田利右衛門を出さねばならぬ、跡用意周到、翌日四郎兵衛は千八百兩持つて吉田屋に出て來た、さてを利右衛門にしたものかと評議の上、幇間の先生高麗彌五郎が堀田利右衛門と化て證文を作り判は印判屋から三十二文で買つて來た出來合の品、長五郎は盗み出して置いたからこれは眞物、四郎兵衛はこの日も馳走になつて證文と金を引替に渡した、然し高利を貸す程の者とて堀田利右衛門の番頭といふ事は知つてゐる、なれど差支の離れぬ內はこの金は乾度取れると先を見越てゐる、さて長五郎は金が入つたについて吉野太夫を受出して吉田屋に預けて置き折々遊興の際に住吉又京都なぞへも行く時しも彌生の中旬眞田山へ遊興に行つた、今を盛りと咲にほふ花よりも吉野の方が美しからうと太白晩、長五郎は黒羽二重の小袖に紋綸の無地を重ね、金作への脇差、さながら大名のやう、吉野太夫は白羽二重に五色の糸を以て秋の七草を縫取した補衣、下も白羽二重、帶は緋緞子、これには金糸にて鴛鴦を縫上げ鶴の尾は地上を張り、その美しきこと鳥も鳴く聲を止め魚も水底深く沈むばかり誠に目出度かゝる景色を取まきの者は紫、牌響樂の對の小袖、銀作への脇差、道行く人は足を止めこの一行を見送る長五郎は供の者に沙汰をして木から木と小袖幕を打廻しそれには伽羅をくゆらし花毛氈を敷き酒飲め上唄へよの大陽氣他の花見の者は淀屋の豪遊に驚いて皆それへ來て見物いたす、この當時は町人が金で大名を凌ぐほどの豪奢を極めたもので江戸小舟町の石川六兵衛といふ豪商が御用を請する者が、五代將軍綱吉公が上野御靈屋參詣の時、その行列を見る爲に六兵衛の妻が大名の內室のやうないでたちで、女中を腰元のやうに仕立て上野黒門小路の町家を借りて緋羅紗を敷詰伽羅を焚きみすを下げてその內より將軍家の通行を見ておつた、あの聞い通りに伽羅の煙が漂ひ何人がこの名香を焚いてゐるかと綱吉公が訊ねると石川六兵衛の妻が行列の道を清める爲香を焚いてゐると聞いて大いに怒り町人の分際として不屆きなる所爲と石川六兵衛の家財闕所江戸四里四方に立入るを禁じた、かういふ例もある、それにも拘らぬ淀屋の豪遊スルところに意外の椿事が起こりさしも名家の淀屋がたふれる事になります。』

次回文苑課題

俳句 寒月 一人五句 高須嘯子先生選

締切 一月五日

注意 用紙は半紙に限る。二つ折片面に五句、並記住所雅號姓名明記のこと、宛名は京城日報文苑係

將棋新手合（二）

於東京市日本橋區蠣殼町一ノ四 篠田木將棋所

飛香落 六段 金子金五郎（東京）
初段 間宮純一（東京）

（圖は前號指了の局面）

△六二銀▲三七桂△九四歩▲九六歩△一四歩▲一六歩△五二金（イ）▲七八銀（ロ）△五三銀▲八六歩△六四銀▲八七銀△五二金▲七八玉（以下次號）

篠田木七段講評

（イ）五二金と上つたのは請けて指す含みであるが古い策戰である三一角と引角模様に指す方が優つてゐる

（ロ）七八銀上りは定跡ではあるが此の處七八玉とよつて玉を早く締まる處である

紙上病院

精神病系の結婚

【問】曾祖父精神病（病名年齢等不明）にて倒れその孫五十七歳の時、精神狂に罹り翌五十八歳で死亡し、その姪同年五十六歳で同じく精神狂に罹りこれまた翌年鬼籍に入れり、今この姪の長男を父母とせる男子（二十九歳）と父の長兄の孫（女子十八歳）と結婚しようとします、果を子孫におよぼすことなきや御垂教を請ふ（御尋生）

答＝曾祖父の罹られたる精神病が如何なる種類のものであつたかを推定することが出來ないことを遺憾に思ひます。それは兎も角も一家中に精神病の血統があつたからとて必ずしもその子孫が精神病に罹るとは限りません。しかし萬全を期するなれば精神病の血統系ある家族の人々はよろしく健全なる血統を有する家系の人々と結婚すべきであります。現今の人類が總て狂人にかならずに居るのは健全なる血統を知らず知らずの間に悪い血統を稀釋にして行くからであります。淋巴狂といふのは變態精神狀態から來る身體並に精神の病氣でありますから精神病系の遺傳とは直接何等の關係がありません。ただその子孫に時として淋巴體質が現はれることがあります。遺傳分子がどれだけあるかは知り難いことでありますから、この御二人が結婚されても精神病に罹る様な事はないとは保證の限りではありません。要するに知らぬが佛なればとも角くも幾らかでも精神病の遺傳といふことを御考へになる程の人々は、常に不安の氣持ちを持ち續けなければならない。かやうな結婚は回避すべきでありますと。遺傳歴を拜見しますと、御本人の兄弟や從兄弟の方々に多少普通でない精神狀態があるかの様に見受けられますから、御本人は目下健全でも子孫に何か現れて來るかは豫知出來ぬことであります。少年なればこの場合御二人の結婚は見合せることに致しませう（總督府醫院神經科久保博士）

一月一日

（舊曆十一月廿八日）▲五黄▲霜劍無し▲土曜▲乙未▲友引▲除▲房宿

▼五黄▲心に迷ひを生ずる內に守つて有利故障注意艮と北と丙が吉
▼六白▲目上の引立を受ける日縁談の纏るのは午後西と南と壬が吉
▼七赤▲嬉しい事が續く企業旅行移轉開業等上首尾西と北と壬が吉
▼八白▲吉運盛大の日思ひきり働いて巨利を占める艮と北と丙が吉
▼九紫▲九分通りまで漕付けて破れる事ある日用心東と西と丙が吉
▼一白▲我儘を押通さうとすると意外な失敗を招く庚と東と坤が吉
▼二黒▲俗まず撓まず進んで結局は大成功に終る日艮と西と丙が吉
▼三碧▲口舌を持込まれ易い日臨く常策を守つて利南と東と壬が吉
▼四綠▲どう焦慮つても意成れ難けとなる出諸內凶南と壬と丙が吉

一月二日

（舊曆十一月廿九日）▲六白▲霜劍無し▲日曜▲丙申▲先負▲建▲氐宿

▼六白▲遲巡してゐて機會を取り逃し易い進んで利西と北と南が吉
▼七赤▲大計畫を樹てるに誂へ向きの日旅行金談上吉西と北と南が吉
▼八白▲元氣旺な日何事によらずすらすらと捗る艮と北と丙が吉
▼九紫▲調子に乘過ぎると不覺をとる內に守つて利東と西と北が吉
▼一白▲萬事順調日頃の願ひことは叶ふ縁談を喜び庚と東と坤が吉
▼二黒▲表面はよく實際は損に終る日盜難失物用心艮と西と丙が吉
▼三碧▲例令苦しくても後日の爲と思つて辛抱せよ南と壬が吉
▼四綠▲無闇に骨を折る日親しい企ては昨日辛抱が南と艮と坤が吉
▼五黄▲自己の力以上の大望も成功疑ひなき日西と艮と北が吉

一月三日

（舊曆十一月三十日）▲七赤▲暗劍西方▲月曜丁酉▲佛滅▲平▲六宿

▼七赤▲心掛次第で凶も吉に變るべき日甲斐がある東と西と壬が吉
▼八白▲迂濶に事を縱へ取返しのつかぬ結果となる乾と東と巽が吉
▼九紫▲目上の意見に從つて離間策の解決する吉日北と南と乙が吉
▼一白▲念に念を入れて進まねば存外な失敗を招く巽と南北が吉
▼二黒▲大望は望まれないが何事も順調に捗る日乾と巽と東が吉
▼三碧▲氣に位が高く見え足に日定期取引見合せ西と乾と壬が吉
▼四綠▲內輪にして利運過ぎては不和禍運は午後西と乾と壬が吉
▼五黄▲穩かな日正しい事は思ふ分行つて上首尾乾と巽と東が吉
▼六白▲目上の人の助けを得て何事も順調自營業一點と壬と艮が吉

滿天下の御同情に依り九雜誌 何れも大發展

見よ 賞狀公開

雜誌報國

大日本雄辯會講談社の編輯方針

▲他の爲め人の爲め！ 之が本社の根本精神
▲面白くて爲めになる どの一際もこれをモツトーに
▲讀者本位！ 讀者のためならどんな苦心も費用もいとはぬ！
▲廣く內外に材料を求む よいものを安く！
▲常に名士大家、諸著の意見を聞き、健實なる內容をと為！

◎此の賣行は何を物語るか？

日本の雜誌業者五百十一社、その發行雜誌七百二十八種（本年十二月十八日現在）

書店取扱ひ總〆高の六割以上は

大日本雄辯會講談社の九雜誌が占有！

▲八割強 東京牛込山吹町 井上書店
▲九割 福岡縣筑後寺町 文寿堂書店
▲七割位 新潟縣吉田町 久保田書店
▲八割強 靜岡縣熱海町 井田書店
▲七割位 前橋市連雀町 文開堂書店
▲八割位 千葉縣小見川町 仁木松雄
▲八割位 山形縣高畠町 倉田書店
▲七割強 靜岡縣清水市 愛林堂
▲七割強 長野縣岩村田町 住吉屋書店
▲八割位 大牟田市大牟田驛 山田賣店
▲七割位 栃木縣足尾町 新田書店
▲八割強 東京市外代々木 盛文館
▲七割位 福島縣二本松町 カメヤ書店
▲七割位 盛岡市材木町 東山堂書店
▲八割位 岡山市西川町 坪井書店
▲七割位 青森市大町 尚文堂書店
▲七割位 函館市大門前 文化堂書店
▲七割位 名古屋熱田傳馬町 熱田屋書店
▲七割位 八幡市西本町 尚美堂
（以上、書店報告のまゝ一部）

【問】貴店御取扱ひの全雜誌に對し本社九雜誌は何割を占めて居りますか？
▲全國約七千の雜誌販賣店中二千軒に就き右の問により調査せる所、本社の九雜誌取扱高は下記の結果を得ました。
▲中には二割前後と云ふ回答も幾つかありましたが、平均は實に六割以上に達して居ます。

◎大日本雄辯會講談社とは？

諸名家の感想、批評の一部を左に摘記

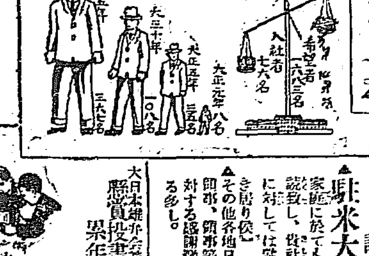
▲政友會顧問 小久保喜七氏曰く……余の大日本雄辯會に感謝する所以は、日本の誇りであるところの國體の觀念と忠節の涵養とをその發行する九雜誌に、或は高く或は低く、或は軟く且つ說き且つ論じてゐることである。殊に、大正七八年の頃、外來の思想が靡々として日本の上下を風靡し、史上稀なる思想の混亂時代を招致した時、雄辯會の振ぐる大旆は、この潮流と逆行して國體の觀念と忠節の涵養とを絕叫して措かなかつたことである。

▲日本電報通信社長 光永星郎氏曰く……講談社の社運が、今日の盛大を致せるは一に社員諸君が、社長の所謂『雜誌報國』の信念を体得し協力一致して活動せる結果に他ならずと信じ、欣羨に堪えざるものである。

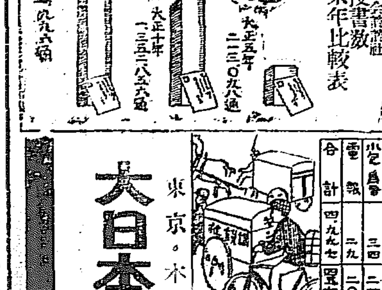
▲五高教授 八波則吉氏曰く……さすがは雜誌報國を以て任ずる大日本雄辯會ほどあつて、どの雜誌も程度といひ、興味といひ、品位といひ誠に申分なく細心の用意が周到してゐる。九雜誌中少くとも五六種は毎月家族に讀ませてゐるが、家中みな滿足してゐる。

▲文豪家 安倍季雄氏曰く……講談社では、頼んだ原稿が面白くなければ、更に何回でも書き直してもらふ。私なども時々原稿を送ると、こゝをかうして頂きたいとか、から直したいとか盛ん文句を云つてよこす。冷靜に讀み直して見ると急所に當つてゐる。講談社の記者は親切だなアと思ふ。講談社の雜誌に間に合せの記事、いゝ加減の記事のないのは當然だ。

▲此他多數名士大家挙つて激賞、其例枚挙に遑なし。



各方面驚異の的！
大日本雄辯會講談社
發展の径路
數字が雄辯に物語る！
右圖解を御覧あれ



在外大公使館の報告に——

故国を遠く離れた同胞を慰め励ますものは故郷の消息である。就中、大日本雄辯會講談社の雜誌は、大多數の同胞に熱讀され引張り凧の有樣である………と。

▲駐米大使 松平恒雄氏……は遙かに書を寄せて、在米同胞の本社發行雜誌愛讀の狀を報じ、更に曰く『貴社の雜誌は家庭に於ても早くより愛讀致し、貴社同人の努力に對しては常に敬意を拂ひ居り候』

▲その他各地日本人會、總領事、領事等より本社に對する感謝激勵の通信頗る多し。

本社よりの郵便物 一日平均發送數量

種類	通數	料金
第一種郵便物	一、二二二	八三、九〇
第二種郵便物	八二七	二八、五八
第三種郵便物	二、七六九	三九三、〇八
第四種郵便物	一五六	七、七九
小包郵便	三四	二四、五〇
電報	二九	二〇、三四
合計	四、九九七	四五七、七四

各地書店より感謝

感激の通信積んで山をなす！

◎キング三千部到着の日等は、いくら『キング』でもと思ひ候に、店頭に積んだ六尺積の十山が、其日のうちに五尺に減じ次に四尺に三尺にと、飛ぶが如き賣行に流石一同喫驚致し居り候（宇都宮市川堂）

◎キシヤザツシ ミンナウレユキ ヨテイブスウ スグ テトツバセ トス ダイニホンユウベンカイハンザイ（ヤマグチシヨテン）

◎追加注文に、賣行快報に、感謝に驚嘆に葉書あり電報あり手紙あり、毎日々々山の湧く樣な通信殺到！全く素晴しい景況！

東京・本郷
大日本雄辯會講談社
振替東京三九二〇番
電話小石川

大日本雄辯會講談社九大雜誌 何れも大奮發 大附録つき 大評判の新年號

◎キング 四大附録つき新年號 平月通り五拾錢
老若男女誰が讀んでも面白い！本書一冊で一家團欒、樂しみながら修養が出來る日本一大雜誌！

◎講談倶樂部 別冊美本附録つき新年號 平月通り壹圓
雜誌界の覇雄、娯樂雜誌の大王として好評！々々 各階級を通じて引つ張り凧！一流大家傑作揃ひ！

◎雄辯 三大附録つき新年特大號 壹圓貳拾錢
各方面に活躍する新人候補！本誌の愛讀者！新時代の武器たる弁論界の權威、修養の好雜誌。

◎婦人倶樂部 美本大附録つき新年特大號 定價壹圓
趣味横溢、實益滿載！良妻として母として婦人一生の良師友！

◎面白倶樂部 四大附録つき新年特大號 定價壹圓
滑稽、劍俠、武勇、逸話、人情美談を滿載し一冊あれば一家ニコニコ！日本一の大衆雜誌！

◎現代 別冊附録つき新年特大號 壹圓五拾錢
社會万般の事項を網羅した趣味と知識の大寶庫！處世修養の指針、眞に面白くて爲になる。

◎幼年倶樂部 大双六つき新年號定價五拾錢
一流名士教育家百余名推奨！日本一の子供雜誌として大好評。双六までが教育的。

◎少年倶樂部 五大附録つき新年特大號六拾錢
教育家、父兄、各方面より好評嘖々！新年號は真に見る甲斐あり 附録の双六は少年熱狂の的！

◎少女倶樂部 五大附録つき新年特大號六拾錢
各地女學校にて課外讀本に指定さる。父兄必讀の雜誌 新年號の双六は大評判。

以上各雜誌全國書店にあり

若山牧水氏筆……（短歌）……冬山にたてるけむりぞなつかしき　ひとすぢ澄めるむらさきにして……牧水

冬山にたてるけむりそなつかしき
ひとすぢ澄めるむらさきにして　牧水

童話　獨り辨慶（上）

前田晁

榮と光雄とがとても大きな、喧嘩をしました。」

二人ははじめ、お庭のむかうの方で、仲よくかくれんぼをして遊んでゐたのでした。まん中の大きな木のところに鬼はいつでも待つてゐることにして、まはりにある澤山の小さな木のうしろに隠れることになつてゐました。」

光雄が鬼の番になりました、榮は直ぐそばの木の後に隠れました。そして、そこへ行つた時に、ふと、光雄がわざとのぞいてゐるのを見たと思ひました。實際、光雄が目に當てゝゐた片方の手をちよつと取つたのは本當でした。そして榮がそれを見た時には、鼻もどこも掻いてはゐなかつたので、いかにものぞく爲にさうしたやうでした

その時、光雄の聲がしました。

『もういゝかい？』

そして、さういつたかと思ふとすぐに來て、榮の隠れてゐる木のところへまつすぐに來て、榮をつかまへました。」

榮はおこりました

『ずるいや、ずるいや、のぞくなんてずるいや？』

『なんだつて、兄ちやん――』と光雄はびつくりしました。『僕がのぞいたつて？　嘘だい。僕、のぞいたりしないよ。』

光雄もむこつて、喰つかゝりました。」

『見たつて、しないものはしないや。ひとの事を馬鹿だなんていふ奴が馬鹿だい。大馬鹿だい！』

『なにが大馬鹿だい？』

『兄ちやんが大馬鹿だい！』

『なんだ、こいつ！』

と、榮は光雄に飛びかゝりました。光雄も負けてはゐませんでした二人はたうとう取つくみ合つて、打つたり叩いたり引つかいたりしてわめき合ひました。

お座敷の方で勉強してゐた姉さんのすみ子がその聲を聞きつけました。

『またはじまつた！』

姉さんは獨りでかうつぶやくと急いで飛び出して來ました。

ちやうどその時には、二人は取つ組合つたまま草の上をころ〲轉がつてゐました。榮が光雄の鼻をぎゆう〲摑へつければ、光雄は榮の髮の毛をかたく握つて引つぱつてゐました。

『まあ、なんていふ人達だらう！』姉さんはさういひながら二人のそばへ行つて『さあ、およし。……およしつたら、榮さん。さあ、光ちやんもお放しよ。』

そしてやつとの事で二人を引き分けると、姉さんは右の手と左の手とで、それぞれ二人の右の手と右の手とをかたく握つて、自分が眞ん中にはさまつて、ぐん〲お家の方へひつぱつて行きました。けれども、そのあるいてゐる間も、二人は姉さんの蔭から時々顔を出して、互ひににらみ合つて、そのたび〲に、あいてゐる方の手でかためた小さな拳固を振まはして互ひに打つてくれるぞといふ眞似をしました。

姉さんはお茶の間の方をゐるおかあさんのところへ二人を連れて行つて、ちよつと二人の喧嘩のことを話しました。

『まあ、さうかえ！』

おかあさんはちよつと眉を顰め二人の方を見ましたが、別に小言は何もいひませんでした。

けれども、ちやうどおやつの時で、そこのちやぶだいの上にはビスケットだのカステラだのチョコレートだのが澤山出てゐましたが、おかあさんは二人にはたゞ小さな鹽煎餅を三枚づゝ下すつただけでした。」

『かまふもんかい』と榮はお菓子を横眼で見ながらいひました。『僕は昔の武士なんだ。僕は大戰爭に行つて敵の大將を殺してやるんだ。それから光雄の奴をも……』と小聲でいつて、『昔の武士はおやつのお菓子なんか貰はなかつた。お小遣ひだつてきつと貰はなかつた。それが當たり前なんだ』

『僕はいやだ』と光雄は小聲でつぶやきました。『僕、カステラがほしいなあ。ねえ、おかあさん』

けれども、おかあさんは知らん顔をしてお茶を飲みながら、すみ子姉さんと話をしてゐました。

『僕はかぶとをかぶつてやる』と榮は威張つた調子でいひつゞけました。『僕の鎧はとてもぴか〲光つてゐる。おかあさんや姉さんがいくら意地わるしたつてかまふもんか。僕は武士なんだからね』

『何を榮さんはいつてゐるんです。そんなつまらないことをいつまでも。……それよりも早く仲よくおしなさい。おかあさんはもうお前達の喧嘩にはあき〲してしまつた』

『本當だよ、兄ちやん』と光雄は元來がおとなしい子でしたからいひました『仲よくしようよ。僕、兄ちやんと戰爭ごつこをしたいんだから』

『だれが！』と榮は吐き出すやうにいひました『惡ものなんかと仲よくするかい？僕は何といつたつてしないぞ』

そしていきなりそばにあつた物さしを取つて光雄をつゝきました

光雄はぽんと飛びあがると『あれ！兄ちやんがいけない！』と叫びながら部屋中を逃げまはりました

榮はそのあとを追かけました。

『これ、榮。』とおかあさんは激しい聲をあげて榮をつかまへました。『いけません、お前は。なぜさういつまでも意地わるなの。おとなしくすることが出來ないならばこゝにゐるとはなりません』

そしておかあさんは、榮を引ずつて行つて子供部屋へ押し込みました。

『今夜はもう御飯も上げませんよ。そのつもりで寢ておしまひ。』

そして外から、ちよつとは明かないやうにしておいて、おかあさんは行つてしまひました。

落語　酒落小町（上）

春風亭柳枝

御婦人第一のお嗜みは御嫉妬でございますゆゑに『りん氣は女の愼む所、疝氣は男の嗜しむところ』『りん氣といふと御嫉妬、一名これを悋助、落語でチン〲と申しますが、重に中流以下でございます　女『どうも親方御無沙汰をいたしました』親『オー誰かと思つたらおたきか、マア〲こつちへ上んな…オイ婆さんや、おたきが來たよ、久しく見えなかつたなこの間も婆さんと、暫く來ないが風邪でもひいたんぢやアねえかと案じて居たんだ、でも鹽の野郎もこの頃は堅くかせいで居ると見えるな』たき『イーエその野郎の事で參つたのですよ』親『何だいお前まで野郎とは』たき『野郎で澤山ですよ』親『又何か初まつたのか』たき『初まつたかどころぢやアありません、いつぞや貴所に叱言をいつていたゞいてから、那れでも一月ばかりも辛抱して居ましたがね、何でも何でございますよ先々月遊りの事でしたが、一寸友達にひつ張り出されて、どこかへ落ずり込んだのが、初まりで、さあそれからといふものチョイチョイ家をあけて、何でもこん所丁度今日で一週間ばかり歸つて來ませんの、それア幾日歸らなくつても家へする事さへして置きやアようございますけれども、あて行ふ物をあて行はないで、家デヤヤア貫所、切物盡くしにたつてしまひました。第一番にお米が切れるし、小遣ひは切れるし、炭は切れるし鹽は切れる、味噌は切れる醤油は切れるお香物は切れる、着物は切れる、皆切れちまつて……』親『大層切れたな、何か一品位の切れね物があるだらう』たき『切れない物がたゞ一つあります、所の菜切庖丁が……』親『それア切れる方がいゝやな、何しろ困つたものだな』たき『眞正に困つたもんですよ』親『眞に仕樣がねえな』たき『眞に仕樣がありませんよ』親『あきれ返つたな』たき『あきれ返りましたよ』親『おなじ樣な事をいつてなさんな』たき『その癖自分爽がやかましくもいひ、口をいつて肯かない時にやアたまにはひつぱたいてやる事もあるんですよ、今度なんぞも這入り込んでゐる穴が知れゝば、押掛けていつて向ふ脛を搔ッ拂つてやらうと、思つてゐる位なんで』親『マア〲待ちなよ、その勢ひぢやアお前何だな、亭主の頭へ手を上げる事があるな』たき『それア貴所あたりまへでさアね、亭主なんぞを打つのは、犬を打つのも同樣ですもの』親『ナ、何だ、あきれかへつた女だなアそれぢやア何も野郎ばかり惡いかアねえや、お前の方も何うかしなけりやアいけねえマアおたき、落ついて俺のいふことを聞きなさい。この夫婦といふものは物にたとへて見ると、亭主が船なら内儀さんは船頭、お前の船の取やうで、どうにでもなるんだ、まア男は人形、お前は人形使ひ、まづ男が義太夫の太夫なら、お前が三味線ひきお前の三味線のひきやうで太夫がまうかりもすりやア、聲も上がる、皆その通り女房にあるんだ、俗に稼ぎ男に繰り女といふ事がある、亭主に巧く稼せがせて、お前に行〲くを廻る、それで無事に行くんだ、さうお前のやうにガミ〲いつたり何かするやうちやア、定めし何も歸つて來ると、厭な顔でもするんだらう』たき『それア貴所當然でさアね、厭な顔をしてさへこの位ですもの、好い顔なんぞすりやア何をはじめるか知れやアしません』親『それがさうでねえんだよ、何んな人間でも、女房によくされりやア、出て行くのにも體裁が惡いやな――、昔大和國に業平といふ人があつたが、大層よい男だつたさうだ、今だに人がよい男を見ると、今業平だとか、女のよいのを見ると、今小町だなんていふから、業平は余ッ程よい男だつたんだらう、第一なか〲浮氣者だつたさうだ、河內國の高安左衛門といふ人の娘で、生駒姫といふのがあつて、これと深い仲になつて、業平は夜ごとに河內の生駒姫のもとへかよつてゐたが、女房の井筒姫は、ツイぞ嫉妬らしい事をいつた事がなかつたさうだ、或夜の事、雨が降つて來たから、業平はどうしやうと考へて居ると女房の井筒姫が、みのと笠を出して來て、うや〲しく兩手に持つて、君には河內へお越しあれといつたさうだ、スルと業平の考へでは、ハテなこの降るのに河內へ行けといつて、乃公をすゝめるからは、殊によつたらこ奴も何か弱みが出來て、乃公の出て行つた跡へ、其奴をひつ張り込むんぢやアないかと今度はアベコベに心配をはじめた樣ら外に情夫があつても、現在連添つて居る女房の事だから、少しチンチンを起こした』たき『アラマアすかない甚助野郎ですねえ』親『何だえ甚助野郎とは』たき『へえ、それからどうしました』親『スルと業平は、表へ出は出たが、後の樣子をうかゞはうと思つて軒下へ忍び込んで居ると、井筒姫は床の間にあつた琴を出して、それを調べながら歌を詠み込んだ』たき『アラぬたですか』親『ぬたぢやアねえ歌だ』たき『何んな歌です』親『風吹けば興津白浪龍田山夜半にや君は一人こゆらん』といつたさうだ、この歌を聽いて業平は、こんなに夜每に家を明けて遊んであるいて居る者を、惜しいとも思はないで、夜更けて山路を通つて、賊にでも出遇やアーしないかと案じて見るのか、誠に濟まなかつたと、業平ほどの浮氣者が、パッタリ浮氣を止めてかたくなつたといふからお前もどうだ、勝ッ而をしねえで、亭主が歸つて來たら、井筒姫のやうに亭主を丁寧に取扱つて、二三日お籠りがありませんでしたが、別段お變りもございませんか位の事をいつてに歌でも詠むやうにして……マアお前達に歌も詠めねえから、そこン所はしやれでもいつて、機嫌を取つて居て見ねえ終ひには先方で出て行くのが、體裁が惡くなるから自然と堅くなら』

奉悼

論山米穀商組合　組合長 林田久仁男　理事 武藤幸太郎　抽木榮次郎　寺澤健太郎　沖田萬平

大田本町　箕浦藤次郎商店

大田驛前　自動車業（園城、錦山）　菊水　電話三三〇番

朝の花支店

大田春日町　ますや酒店

大田本町二丁目　金物商　土井深商店　電話六五番

大田本町　米穀貿易商　若林茂商店　電話四六番　電略（ワカハヤシ）　振替二六七一番

京釜線大田本町二丁目　度量衡器、計量器、農工具、動力用…商　芦田朝鮮支店

大田春日町一丁目　北村寫眞館　北村一眞　電話三一八番

大田　皮革株式會社

京釜線大田本町二丁目　中村捨三商店　電話五〇番

大田春日町　越智履物店

大田本町　菓子商　風月堂　電話一四七番

大田驛前　玉突　自由軒

文化折箱製造本舗　各種折箱・寿司板　酒・煙草・雜貨　ナヲキン・シデ紙　製造卸商　古田商店　京釜線大田春日町

論山驛前　新屋信雄

大田春日町一丁目　岡金太郎

大田春日町　京城瀧川自轉車商會　大田支店

大田春日町　寶來堂菓子舗

大田本町　雜貨商　市原商店

大田春日町一ノ九二　永野廣治

大田金融組合　村尾伊勢松　大野與三郎

大田春日町一　東亜藥房　伊藤健藏

大田本町　牛屋正雄

大田本町一　天野時計店

大田本町　まるや洋品店

松華堂表具師　若山新助　大田本町

大田懷德金融組合　理事　關口正三郎

大田本町　南部京平商店　電話四五番

大田　貝塚正

大田本町二丁目　活田太一

大田春日町　朝鮮皮具製造合資會社

優勝旗　印袢天　染物　紋上繪　大田春日町一丁目　曾田染工場　電話三六四番

大田春日町二丁目　米穀商　金鍾聲

大田本町二丁目　金物商　陶器　權錫采

大田春日町一丁目　帽子メリヤス　文房具諸紙　化粧品雜貨　田中喜三郎

專賣特許肥料配合製藥特約店　齊藤商店　大田榮町三〇

平壤府竹與里三五番地　奥田英一郎　電話四三五番

平壤　文具商組合

平壤大和町六番地　岩野本店

平壤大和町十二番地　岩野支店

平壤港町　富田晉二　電話一三六番

平壤公立小學校　職員一同

平壤府大和町　下江黄金堂　電話三〇三番

平壤大和町　盛昌洋行　毛利辰次郎　電話三〇四番

平壤　賑町券番

平壤旅館組合

平壤府旭町二番地　平壤無盡株式會社　電話六一番

平壤府平川里　山十製絲株式會社　平壤製絲所

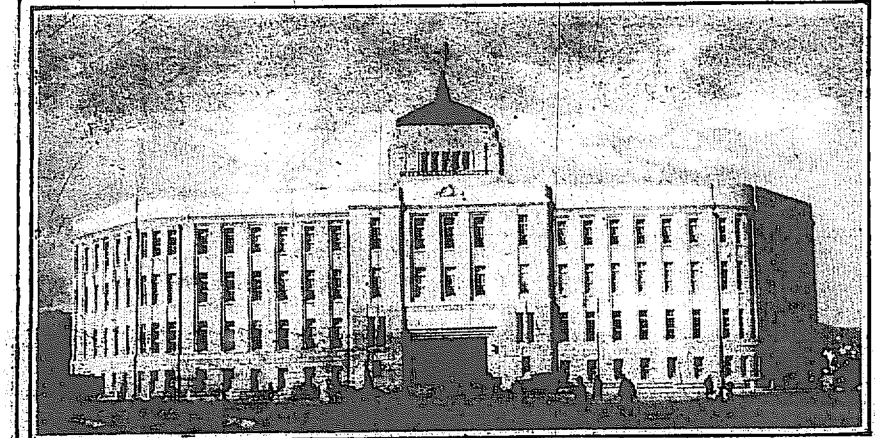
平壤酒造組合

陽德郡廳　陽德警察署　陽德煙草耕作組合　九龍金融組合　九龍郵便所　平安南道地方費林業苗圃　平壤地方法院陽德出張所　九龍森林保護區　九龍公立普通學校　九龍公立尋常小學校　陽德面事務所　陽德織物組合　陽德酒造業組合　各職員一同

平壤船橋里　大日本製糖株式會社　朝鮮支店

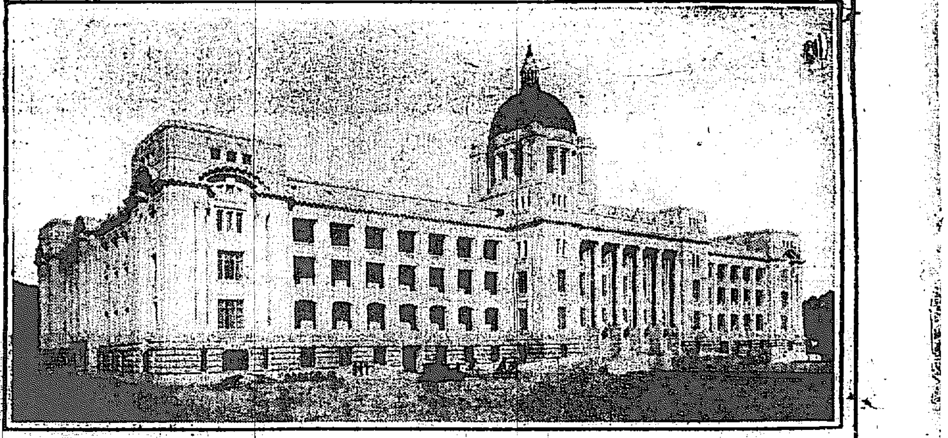
片倉殖産株式會社　平壤營業所（平壤府大和町　電話三四五）　同　鎭南浦出張所（鎭南浦三和町　電話四二四）　同　沙里院出張所（京義線沙里院　電話二〇九）　株式會社平南自動車商會（平壤府旭町　電話六〇六）　陽德溫泉　九龍閣（平南陽德郡龍面）

平壤府外船橋里　朝鮮電氣興業株式會社



大京城のシムボル・

曾つて伊藤公が『かたつむり』のやうぢやと詩に寄せて評した低い朝鮮建の草葺きが木造と變り、石造と移つて、平面から立體へと、すく／＼と伸びて來た。その中でも朝鮮總督府と、京城府廳は、朝鮮の文化と、大京城の發展を象徴する大建築である。そしてこの二大建物を中樞神經として、朝鮮の文化がグン／＼進んで行く。（寫眞右 總督府、左 京城府廳）



立體都市として 發展する大京城

總督府京城府廳等を始め として大厦高樓續々竣工

特筆すべき記錄

朝鮮の首都、大京城の床柱ともいふべき總督府のホワイトハウスが竣成して盛大なる落成式を擧げたのは昨年十月一日のことであつた、續いて同月卅日には京城府新廳舍の落成式が行はれた。相ついでこの二大建物の

完成は 立體都市としての著しい進歩を遂げつゝある京城の發展史上に特筆すべき二大記錄であらねばならぬ、大正十四、十五の兩年は朝鮮の首都としてまたわれ等の京城としても記錄すべきことの多かつた年である。まづ立體的方面から行くと京城の表玄關に當たる京城驛が貧弱なるバラツク式の物から宏壯美麗なる

新驛に 建かはつたのをはじめとし半島住民の上に平和と福祉を垂れかけ給ふ有難き守護神を安置し奉る朝鮮神宮が南山の翠巒に造營された、續いて三角山下に十年の歳月と七百萬圓の巨資を投じ營々として建造されつゝあつた總督府の東洋一をもつて誇る大廳舍が竣成した、それに少し遲れて

京城府 の宏壯なる新廳舍も完成した八十萬圓の經費をもつて二ケ年間の歳月を要したわれ等の京城府新廳舍は人も知り太平町の大道路に面し四層樓の建築物でこれに隣接する本社の社屋と共に太平通りの二大建物として人眼をひいてゐるのである朝鮮唯一の最高學府たる城大本科も大正十三年以來建造中の總督府醫院裏手四萬四千六百坪の

敷地に 百六十六萬圓の巨資をもつて繼續事業として建てられてゐるがこれも昭和二年度において一まづ豫定計畫の全部が完成することになつてゐる貞洞の大中空高くそびゆる京城放送局の大アンテナの下には昭和新春早々いよ／＼放送に着手する準備を以て晝夜鋭意裝置の完備を急いでゐるまた貞洞には六十萬圓を以て三澤醫院の宏壯なる

大建物 が建てられることになつてゐる、新春の解氷期を待つて着工する計畫であるが、その他南大門通から光化門通、太平町、鐘路の各一等道路に面した繁華な通には各會社が競爭的に新社屋を建築すべく何れも新らしい抱負の中で基礎工事の下準備にかかつてゐるといふ狀態である、これ等の大建築物が完成した曉の

京城は 更に一段の光彩にかがやくことだらう

我輩は兎である。隠忍自重十二年續く至りついたお目出度。その昔よはひ萬年の龜公の、あのおろか者にしてやられた恥辱はあるが、そこは矢張り、萬事につけて忘れつぽい人間共のしやすさ我輩さへだまつてをればこの十二歳一週の晴れにらんと威張れる、

◇

されぼつ／＼今年は我輩のへいさゝか聞いが花に似た、話題でもポツリ／＼とまいて行くとしやうかい

◇

酒屋は例年の半分位しか注文がなかつた臨時非常に悄氣てゐる、花柳界も非常な痛手、樂器屋も客無で大弱り、鐵砲の天狗連も謹慎申上げてゐるので火藥店は火の消へたやうな寂寥である

◇

酒屋、名刺屋などもさつぱりふるはない、上戸黨もこの際大つぴらにメートルをあげる譯にもならずせい／＼家で女房相手にチビリ／＼と傾ける位が關の山だから正月は來ても町は靜かなものだらうしかし室内遊戲はその反對でカルタ、花カルタ、撞球、マーヂヤントランプ等大當たりの正月である

◇

事故の觀發を慮つて市内の各署とも各課の巡査を督勵して全市に非常警戒の網を張つて警戒してゐるが各署の外勤共連日連夜の活動で神經は昂進身體は疲勞して風聲鶴唳にもふるへて耳をそばだてるといつた有樣

◇

所が廿九日夜午前三時頃府内○○町一丁目の某家にピストルを擬した強盜三名が押込んだと本町署に通報したものがあるので本町署では時を移さず數名の刑事を急行させて取調べて見ると全くの誤報であるとわかつた

◇

諒闇に入つて何も彼も遠慮されいたるところ火が消へたやうな寂しさを見せてゐる中に仁川埠頭は相變らずの米の山、

◇

埠頭には十數隻の汽船が日々押掛けに押並んで景氣のよいこと夥しい、税關の調査によると十二月廿日現在における玄米の移出數は百十八萬三千石（内外國輸出六千五百石）であ

◇

り月末までには更に五六萬石の移出を見たらしく結局昨年中の移出數は百廿萬石を突破した模樣である

◇

由來仁川より移出される玄白米の石數は年々増加の趨勢を辿つてゐるが、産米増殖計畫の進捗に伴ひ今後は一層の盛況を來たすものと見られてゐる

◇

【ナウエン廿九日無電放送】有名なオーストリアの詩人ナイナー、マリー、リルケはモントローで死去した享年五十一歳氏は千九百六年にフランスの有名な彫刻家ロダンの助手であつた

先づ道路の改修から着手

電車網の完成にも努める 京城府の都市計畫

大京城の都市計畫事業は昨年京城府提案の計畫内容をもつて十ケ年繼續し市街區域の擴張、道路の

大改修 を行ふことになつた、しかし京城府要求の經費は總督府において削減されたので豫定通りの計畫遂行上一頓挫を來たした、しかし事業の主要眼目たる道路の改修について府では豫算の許す範圍においてどんどん進めて行く方針であるから府内の道路は益々改善されて行く一方である殊に電車網の普及も京電において極力府民のため努力する意向であるが差當たり最も必要とされてゐる

太平通 の新線路工事はいよ／＼新春早々起工されることになつてゐる

常盤丸 航海中に火災に罹る

【桑港電報】マリンエキスチエンジの所報によれば日本郵船の貨物船常盤丸（七千五百屯）は火災を起こし、その後鎭火したが損害多大であると、なほ船長は仁藤泉氏で同船はシアトル出帆後三日目の午後出火したものである

平壤各隊の入營兵 八日夕釜山上陸の豫定

平壤七十七聯隊、平壤飛行第六大隊其他に本年度入營する下士卒一千百十八名は將校五名に引率され八日夕釜山上陸直に臨時列車十三輛で輸送九日午後四時卅五分平壤驛着それ／＼所屬隊に入營するはずである

結氷で仁鎭間航行中止

朝鮮郵船では結氷のため仁川鎭南浦間の汽船運航を解氷期まで中止したので鐵道局でも仁川および鎭南浦驛經由の連絡貨物の受理を停止した

諒闇の中に寂れた京城驛

乘客頓みに減少

諒闇が影響してか旅行客も昨今減少し京城驛頭も例年の如き歳末の慌しさが見られない廿七、八、九の三日間の

京城驛 乘降客を昨年に比較すると乘客が減少してゐるのに反して降車客は増加している二十七日は乘客二千九百十四人降車客二千四百六十八人で昨年乘客三千百九十五人降客二千三百九十三人で乘客は二百八十一人減少し降車客は七十五人増加してゐる二十八日は乘客三千三百十人降車客二千五百五十九人で昨年の乘客三千五百六十五人降車客二千五百九十九人に比し乘客は二百五十五人

減少し 降車客は四十人減少し廿九日は乘車客三千百四十八人降車客二千五百卅七人で昨年の乘車客三千三百廿一人降車客二千四百九十四人に比し乘客百七十三人減少し降車客は四十三人増加してゐる

新町券番の遠慮 花代は普通

藝妓花代は普通一本七十五錢紋日は一圓の規定であるが新町券番においては御諒闇中なるを以て一日二日、三日の紋日は普通花代を徴する事に決定した

滿鐵列車で大金を拔取る

消えてしまつた二萬六千圓 犯人の見當つかず

【奉天電報】二十八日夜滿鐵營口驛長奉行列車が奉天、文官屯の兩驛間を進行中手荷物所藏の金庫内にあつた二萬六千圓が何者にか拔き取られた各方面に嚴重手配り中なるも犯人不明であるが近來この種の犯行續々として現れ又安東驛長、大連驛等で盜難の脅威事件等が續出するので滿鐵當局および警察當局は非常に警戒して居る

御用始は四日 新年諸式は遠慮する本府

諒闇中につき總督府においては一月一日總督官邸における受賀をはじめ五日の新年宴會等一切の祝式を御遠慮申しあげるのであるが四日は午前十一時より本府第一會議室において政務總監、各局部長、在京城第一次所屬官署の長、本府高等官等參集今年の御用始式を擧行するに決した

卯年生れの令嬢

右上より渡邊美代子さんは渡邊晋博士の三女大正四年十二月八日生れ日出小學校五學年に在學中です◇岡愛子さんはセウルプレス社の岡與三氏の令嬢二月廿日生れ日出小學校六學年に在學中◇關口孝子さんは府内南米倉町實業家關口武者太氏の次女一月四日生れ南大門小學校六學年に在學中◇瀧川正子さんは府内明治町瀧川銃砲店主の瀧川靜江さんをお母さんに持ち七月一日三女に惠まれ南山小學校五學年に在學◇左上より宮島エイ子さんは府内大和町李王職事務官宮島擬雄氏の令嬢十一月三十日生れ日出小學校五學年に在學中◇大岡菊子さんは明治町二丁目大岡與太郎氏の令嬢一月廿四日生れ南山小學校六學年に在學◇川畑敏子さんは府内南米倉町實業家川畑俊雄氏の令嬢十一月三日生れ南大門小學校五學年に在學中◇大塚愛子さんは第一高女教諭大塚勇之助氏の長女一月廿五日生れ日出小學校六學年に在學

生きる安さを 糸貫川の水に求めて

借金の嵩みと世の噂を苦にし 一家六人の投身

【名古屋電報】岐阜縣揖斐郡富秋村見島讀作妻スミ（三四）は廿八日午前六時頃長男正義（一二）外四名の子供と共に本巣郡船田村の糸貫川に身投げ自殺を計り苦悶中を發見され手當を加へた結果六名とも蘇生したが夫讀作はこれを見て精神に異狀を來たした、原因は借金のかさみと世間の噂を苦にした結果であると

清水寺境内で無粹な三人心中

遊興の金に窮して 一人のみ助かる

【京都電報】二十八日正午清水寺境内で三青年が服毒心中を企てゝ苦悶してゐるのを松原署員が發見し直に東山病院に入院せしめ山下部長が出張取調べると奈良縣北葛城郡岩園村中山長次郎（二一）池田鐵雄（二九）および同郡高田町本町一田村満二郎（二一）の

三名で 日頃から仲良で中山と池田は郵便配達人田村は鐵道職工だがひまある毎に會合し遊興を共にしてゐたが日に借金が出來てゐたまらず二十七日京都に來り驛前の旅館に泊つたが懐中無一物となつたので二十八日正午過ぎ清水寺に赴き携へてゐた殺鼠劑一本を三分してオブラートに包み飲んだが田村のみは直に吐き出したので別狀なく中山と池田は

重態で ある田村は二十九日朝親戚に引渡されて歸國した

生活苦から飛込自殺

三十日午前一時四十分京城驛着京釜線第八百三十二號貨物列車が新村京城間の阿峴トンネルを進行中三十歳位の朝鮮人が線路内に飛込み兩足を切斷され自殺を遂げた身許原因については目下西大門署で取調べ中であるが原因は生活難の爲らしい

無慘な轢死 竹添町トンネルで

卅日午前一時京城發同五時鎭南浦着の貨物列車の車輪に血痕附着せるを龍山驛員が發見、各驛に打電して轢死の有無を問合せた處卅日午前七時京城驛を北に去る約半マイルの竹添町トンネルの下で一鮮人の無慘な轢死體を發見遺留品よりして府内桃花洞一七樵夫なる事判明目下取調べ中

剃刀で自殺

京城鍾路町李鍾甫（三七）は卅日午前八時自宅でカミソリ自殺をはかり咽喉氣管を見事に切斷して死亡してゐた、原因は貧困のため厭世自殺

松島事件の豫審決定す

被疑者は何れも有罪 首相以下は不起訴

【大阪電報】天下の耳目をせう動せしめた松島事件の豫審は三十日午後六時決定を見たが何れも有罪となり岩崎勳は精神鑑定中のため同決定から分離されてゐる從つて若槻首相ほか五氏に對する告訴事件は不起訴となるらしい罪名は岩崎勳、平渡信、箕田岩男（平渡の秘書）箕浦勝人、今北治作の五氏は詐欺罪にして高見之通氏は詐欺幇助と文書僞造罪であると

聖天

卯の年の惡方參り光照門外生駒山寶山寺に於て正月三日間開帳の御祈禱あり

あつた同開帳は申込者が二三名しかなかつたので中止した

京城神社の祭典

京城神社では卅一日午後七時大祓式を執行し同十一時除夜祭（小祭）を行つたが一月一日は午前二時より歳旦祭（中祭）同三日午前十一時より元始祭（中祭）を擧行する

希前大統領 位記軍籍を剝奪さる

【ナウエン廿九日無電放送】ギリシヤ前大統領パンガツス將軍は今回大統領令により位記を剝奪された上軍籍からも全然除去されてしまつた

九州巡遊團出發す

鐵道局營業課旅客主任の九州めぐり團乙組（三等）二十三名は龍谷旅客係の案内で二十日午前十時京城發列車でいよ／＼九州めぐりに向つた京城驛着は豫定のごとく二十九日午前十時京城驛着の豫定で

啞の息子を殺す

親子三人は過失致死として引致さる

三十日午後三時頃府内長沙町五丁目一八四番地吳二男啞者申上一雄（二二）が毎日發狂し暴れまはるので吳家に度々あまし通りかゝりの鮮人豆腐屋に頼んで一雄の手足を縛りつけ弟秀之と三人にて柱にくゝりつけたが益々たけり狂つてあばれるのでかたくしばつたまゝ押入に入れて置いたが午後九時頃あまり靜かになつたので開けて見ると死亡してゐたので驚き本町署に届出たますます秀之の三名は過失致死罪として直に引致取調べ中

田畑氏の葬儀盛大に執行 卅一日本願寺別院で

故田畑憲兵部補の葬儀は三十一日午後零時三十分より府内若草町大谷派本願寺別院において執行した葬儀委員長は米田京畿道知事、安藤憲兵隊長、國友警務課長ら府内各署の警察署長以下警官約五百名の會葬の下に讀經に次いで米田知事、安藤部長、各署署長總代鈴木本町署長の弔辭あつて燒香に移り遺族一同參列の順序にしめやかに營まれた

上品で便利な 英文卓上カレンダー
一個三圓 ▲本社用度係に御申込まるればスグ御届けします（電話光四〇〇番）

福箱
名物「東京もなか」の奉仕
卯歳初二日 自午前七時 至正午
恒例により福箱五百個限り賣出し致します 但一個金壹圓
景品 純十八金指輪二十五ケ 一ケ四圓位
同プラチノン指輪四百七十ケ 一ケ一圓位
特別 復興債券五枚 五圓券
右景品を各箱に洩れなく封入してあります
場所 本町二丁目（ちゝぶや前）
東京もなか本家 みどり家分店
豫約三十一日まで御引受致します

新劇戰派河部五郎猛演
新春元頭の大壯觀
まんじともえ
三十一日より 喜樂館
◎（同時）レーボール 連續猛鬪野球大活劇
神洲男兒の意氣 淺岡信夫大快演

諒闇中折柄拙家服喪に付き謹而年頭の御挨拶遠慮仕り候
化粧品店 京城本町二丁目 中村商會 中村昇

諒闇中折柄拙家服喪に付き謹而年頭の御挨拶遠慮仕り候
京城府大門通一丁目 北村成義

諒闇中折柄拙家服喪に付き謹而年頭の御挨拶遠慮仕り候
秋吉良三郎

愛闘（71）

山田勇雄作 多田毅三畫

挑戰【三】

『一體、きいて置きたいが、木島君。君は、もし、三好と細君との間に、すでに問題が成立してゐるとしたら、どういふことにする考へであるね』

沈痛な色をうかべて、眉を暗くした木島の顏を、高山はまともに瞶めながら、

『無論僕は二人の間際が、そこまで進んではゐないと確信してゐるが』

と、言葉をつぎたした。

『僕には、實際のところ、どうにも仕やうがない。もと〳〵僕自身こういふことになつたについての責任は感じてゐるから、すぐ、離婚にはなれない』

木島君は力のない聲でいつた。

『純良な君のことだからなあ。さう寛大な氣持ちでゐられゝば結構だよ』

高山は、嘲る態で立たしい調子でいつた。

『が、挑戰とは何時だ。三好の奴め、余程、君を甘く見てゐる。しつかりしなきやいけないよ。』

『僕は、翳子から、その手紙を受取つた時から、腸がぐら〳〵して何の考へもつかないんだ。君の裁斷に任せるより外に方法はない』『勿論、三好に逢つて、僕は鐵底を叩いて見る積りだ。どうしても本音を吐かせた上で、あいつの反省を求める。其時君は快く三好に逢つてくれるかね。』

『それは逢はう。しかし、あまり荒立てないやうに頼むよ。三好君にしても、大して惡意があるとも思はれないからね』

『惡意とか何とかいふことは、もう、とうに通りこしてゐるんだ』

高山は、木島の張のない態度に焦燥を感じながら、

『木島君、君は弱くつていけない。もつと強くなつてゐてくれ。殊にこの問題に就して飽まで、斷然としてゐて貰はないと僕が困るよ』

『しかし、君、一體の、暴力沙汰などに出ないやうにしてくれ』

『或は、暴力に訴へることがあるかもしれない。どうしても三好を謝罪させるんだから。』

『成るべく、友人關係を傷つけないやうにしてゆきたいからね。』

『そんな事は、どうなるかわからない。三好の出やうで、斷然あいつを膺懲するかもしれないよ。』

『それは困る。會社の方なども、現在のまゝにして置かないと、かへつて世間的になつて、僕が迷惑するから、穩便に事を進めるやうにしてくれ』

『まあいゝ、君がそれ程、寛大にしてくれるんだから、話はしいゝ。僕にすべてを任せてくれ。兎に角三好をひつ張り出さう。』

『いやあとでもいゝぢやないか』

『なに、一刻も猶豫は出來ない。電話をかけやう。』

高山はそのまゝ、立ちあがると勘定場の側にある卓上電話をとつた。築地の支店を呼び出すと、程なく、三好が先方に出た。

『三好君、僕だ、高山だ。至急君にあひたい事がある』

激してゐる感情をおさへて、聲を柔へてから

『そうだ。支店では、都合が惡い。これから日比谷へ行から。公園の松本樓に僕は待つてゐるから、すぐ都合をつけて、出て來てくれ』

新らしい出版物

ベローナの二紳士 坪内逍遙博士著 沙翁が修業時代の三喜劇中では舞臺技巧において確かに一難境を示したものではあるが、ロミオとジユリツトに似た習作らしく若々しい感情が全篇に漲つてゐる。筋は一人の若い紳士がその親友の愛人に戀してその情婦を捨て、莫逆を裏切り不義を敢てするといふのである。沙翁研究上また内外劇の比較研究上見のがしならぬ特殊趣味の作（二圓五十錢東京牛込早稻田大學出版部發行）

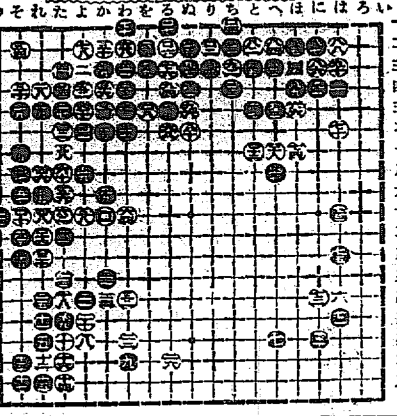
◇蜻蛉のお爺さん（小川未明著）未明氏の童話た特殊の苦心と獨特の味ひのあるのはいふまでもない。蜻蛉のお爺さん外二十數篇は必ずや兒童の共鳴を得るであらう。挿畫も鮮麗（一圓七十錢東京淺草區栁橋通り創生堂發兌）

◇天の川（十二月）朝鮮に因緣の小かい俳句雜誌であるだけに朝鮮作家の投稿の多きを見る。森は作者の心境を明瞭に云へる一例、銀漢亭より（網走洞）去來先生浴塚（土英）滿洲にて（たけし）ついで雜場年中行事、十の俳句について、俳諧詩句を讀むべく味ふべき記事滿載（三十五錢福岡市今泉九四天の川發行所）

◇地上樂園（十二月）白鳥省吾氏の編輯する詩の雜誌…三十錢東京市外高田町雜司ヶ谷舩原大地舍▲キネマ花形（十二月）省像室、溝寳、日活映畫、松竹映畫、東亞映畫など…三十錢東京駒込驅木町花形社▲衞生運動（新年特別號）今年一年無病息災で暮す法その他優生篇、修養篇、福利篇等…三十五錢東京構濱紺屋町實業ビル其社▲實業（一〇の一）新年倍大號…一圓東京小石川區同心町其社▲郵便切手（新年號）五十錢東京小石川區表町其社▲中央佛教（新年號）東京牛込區矢來町其社▲大觀世（一月）五十錢東京市小石川區關口町能樂書院▲文化生活（一月）四十錢東京本郷區元町一丁目文化普及会▲日本魂（一月）十錢東京京橋區櫻橋南側其社▲樂星（ベートーヴェン號）三十錢東京數寄屋河岸岡田日樂室

碁新局（六）

先々先番 井上一郎（二段） 小野寺新一（二段）



●一〇一ち二 〇一〇二り二 ●一〇三ち四 〇一〇四ち一
●一〇五ぬ二 〇一〇六る二 ●一〇七る一 〇一〇八を二
●一〇九り三 〇一一〇そ十一二 ●一一一つ十一 〇一一二と七
●一一三ち二 〇一一四れ十 ●一一五た十二二 〇一一六ち七
●一一七へ八 〇一一八へ七 ●一一九ち二 〇一二〇れ十二三
●一二一〇一ノ劫トル 〇一二二一六劫トル ●一二三一九劫トル 〇一二四二五

演藝案内

大正館 三十一日ヨリ新春特別大興行
新春劈頭を飾る帝王篇 松竹蒲田超特代劇 伊田伯山講演 監督吉野二郎
勇の中の男俠血高鳴る一世の痛快 清水次良長が俠快無比全生涯時代劇
◎新舊劇にこれ 遂に滋賀 **清水次良長** 前篇 安政殺人劍の卷
嵐野秀夫、堀田金星、河村黎吉、柳咲子、松井潤子、中村桃代 オールスター・キャスト
滿天下渴仰の大名篇蒲田超特作 原作寺尾幸夫 脚色村上德三郎 監督野村芳亭 蒲田俊雄
良人御制の極意 妻君操縱術 立身出世の大秘訣 **カラーボタン** 十二卷
諸口十九、藤野秀夫、新井淳、武田春郎、押本映二、岡田宗太郎、筒尾天旃、奈良眞養、飯田蝶子、藤田陽子、佐々木浩野、八雲惠美子、小櫻葉子、高尾光子、春田鶴、總四十名、蒲田男女優總出

黃金館 帝キネ
昭和第一年初春第一回特撰特別大興行 三十一日より五日間
帝キネ高堂超特作 市川百々之助一人二役主演 大衆時代劇 **美少年** 全六卷
帝キネ高麗屋時代劇 柳川春葉先生原作 松本英一監督作品 現代悲曲 **かたおもひ** 前編七卷 歌川八重子、澤蘭子、里見明、松本泰輔共演、大才小役松本
帝キネト友團特作 前田曙山先生原作 雜誌キング連載小説 快俠 **不知火** 第一篇 六卷 尾上紋十郎主演
本興行中は從來發行の招待券及び特種入場券は御謝申上候

喜樂館
◎宮 佐世保鎮下に於る陸軍特別大演習 一卷
日活現代劇新時代映畫 日支合同大撮影映畫 スポーツ活劇 **神州男子の意氣** 卷十 淺岡信夫、岡田嘉子主演
支那上海に行はれたる萬國オリムピツク大會 猛然と立つた大和丈夫 一度走れば千里の勢
來國パテー社映畫 野球連續活劇 **プレイボール** 第一篇 第二篇 アリシンシイ嬢、ウオターミラー氏主演
日活傑作大時代劇 大劍劇 **卍巴** 七卷 猛優河部五郎と其一黨

中央館 マキノ キネマ
十二月卅一日より新春超特別興行 マキノ御室スタヂオ超特作映畫 原作中内蝶二 監督井上金太郎
有名なる舞臺劇の映畫化 現代悲劇 **大尉の娘** 全七卷 老優の第一人者關根達發主演 艶麗マキノ輝子、荒木忍助演
ウオリアム、フオツクス社超特作 快男兒バツク、ジヨンズ氏大猛演 西部活劇 **悍馬宙を飛ぶ** 全七卷 名花エブリンブリント嬢助演
マキノプロダクシヨン超特作 原作山上伊太郎 監督マキノ省三 老匠巨匠金森萬象氏半ヶ年間苦心完成の巨編
我國最初の森林大猛鬪活劇 一大革新的森林鬪爭史 **狼火** 全十卷 作者は日本の西部活劇と云へり
マキノ正博、荒木忍、都賀靜子、津村博、金谷種子、外島四郎、市川百驃

浪花館 明治町
一月元旦ヨリ 出雲本場安來節 **山本愛太郎一行** 三十餘名大一座
演藝種目 正調安來節 小原節 磯節 踊閣の五本松 博多節 浪花節 鈴太鼓 萬才 三味線合奏 小原節 花笠踊 藝人亂 所出雲げん まつづくし 自轉車曲乘 美術紙切 鳥總出踊 其他澤山

奉悼

咸興端川邑内 南大水利組合
咸興消防組頭 小藤榮夫
咸興面協議會員 松村榮三郎
咸興大和町 合資會社 芝田印刷所 電話一五三番 振替京城六二五三番
咸興面協議會員 咸興學校組合議員 釜山福太郎
御銘茶、陶磁器、漆器、金物、荒物、世帶道具 和波商店 咸興大和町二丁目 電話二二八番 振替京城八四七四番
咸興博仁會主事 中村源一
咸南利原郵便所長 尾西鶴吉
咸南端川公立尋常小學校長 天野規矩一
咸南西湖津 日用雜貨 竹原商店 電話八番
咸南西湖公立普通學校 職員一同
定平郵便所長 清水藤吉
定平郡府內面 職員一同
咸南定平邑內 荒木鵬一
咸南定平公立尋常小學校長 中村朝七
咸南定平驛前 秋山邦太郎商店 振替京城九四〇二番
咸興郡廳 職員一同

大田春日町一丁目 福田呉服店 電話一六二番
大田專賣局出張所 高宗勝喜
大田 林病院 林辰雄
大田刑務所長 則近喜代熊
大田警察署長 迫野準逸
大田本町 鹽冶仁助
大田本町 魚商 岡本仁作
大田本町一丁目 紙文房具 高田商店
大田春日町一丁目 學用品 樂器 白川樂器店
大田元松島町 井上泰雄
論山旭町 松原醫院 電話三一番
忠南論山本町 運送部 自動車部 松永茂
大田本町 今井辰治郎
大田春日町 鹽崎時計店
大田本町一丁目 宮崎帽子店

大田土曜會
東洋拓殖株式會社大田支店
朝鮮殖產銀行大田支店
郡是製絲會社大田工場
漢城銀行大田支店
大田電氣株式會社
忠淸煙草元賣捌株式會社
忠南無盡株式會社

大田鐵道水曜會
大田 日海興業株式會社支店 北島常吉
大田面長 白石鐵二郎
大田郵便局 局員一同
京釜線大田鉢岩里 大田煉瓦工場 電話一七八番
大田 朝鮮興業株式會社大田管理所 所長 高島忠三郎 同代理 石塚六右衛門
大田驛承認運送店組合
㊀通 內國通運株式會社大田代理店
丸 大田運輸商事株式會社
㊁吉 小野運輸組
大田郡廳 大田郡農會 伊關重俊 平岩氏貞
大田鐵道病院 佐藤惣太郎
大田木材商組合（イロハ順）
加藤材木店 電話一三番
吉原材木店 電話二四九番
明田材木店 電話一〇番
富士材木店 電話四一、六三番

木材 各種 新義州營林署

仁川承認運送店組合（いろは順）
一心組
原田運送店
中條運送店
株式會社 內國通運仁川支店
中村運送店仁川支店
大和組
山口運送店
增井運送店
慶田組荷捌部
福島組
日本組 仁川支店 運送部
合資會社 協同組仁川支店
順發公司運送店

仁川穀物協會 專屬七 仲立組合 電話六四番
田岡留吉
橋口勘左衛門
木下德三
木村爲一郎

水原煙草元賣捌組合
水原營業所
鳥山營業所
南陽營業所
發安營業所
金良場營業所
白岩營業所

龍山醫師會

仁川府仲町一丁目 太陽白合資會社 電話八二四番
京城羅紗組合
仁川 力武嘉次郎
仁川 河野竹之助
仁川酒造組合
東京海上火災保險株式會社 大正海上保險株式會社 朝鮮總代理店 三井物產株式會社 朝鮮仁川府
水原勸業模範場職員一同
水原高等農林學校職員一同
水原蠶業試驗場職員一同
仁川穀物協會
京城府寄莱町二丁目 朝鮮製綿株式會社 電話龍山一二六番